

訪日外国人の消費動向

訪日外国人消費動向調査結果及び分析

2018年1-3月期（速報） 報告書



JAPAN TOURISM AGENCY

訪日外国人の消費動向

2018年1-3月期(速報)報告書

目次

I 訪日外国人の消費動向の分析結果

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

- (1) 全目的 3
- (2) 観光・レジャー目的 9

2. 訪日外国人の旅行支出

- (1) 旅行支出の構造 13
- (2) 旅行前支出 14
- (3) 旅行中支出 14
- (4) 旅行支出の推計 16
- (5) 費目別にみる旅行支出 18
- (6) 来訪目的別にみる旅行支出 19
- (7) クルーズ客の旅行中支出 19

3. 土産品の購入実態

- (1) 費目別購入率 20
- (2) 費目別購入者単価 20
- (3) 買物場所 21
- (4) 利用した決済方法 21
- (5) 消費税免税手続きの実施状況 22

4. 満足度と再訪意向

- (1) 訪日旅行全体の満足度 23
- (2) 日本への再訪意向 23
- (3) 最も満足した購入商品 24
- (4) 最も満足した飲食 24

5. 役に立った旅行情報

- (1) 出発前に得た旅行情報源 25
- (2) 日本滞在中に得た旅行情報 25

6. 日本滞在中の行動

- (1) 訪日前に期待していたこと 26
- (2) 今回したことと次回したいこと 27
- (3) 今回したことの満足度 27
- (4) 利用した交通手段 28

「訪日外国人消費動向調査」は、次に示す3つの調査から構成されている(それぞれの調査の概要についてはII編を参照のこと)。

- 【A 全国調査】
- 【B1 地域調査】
- 【B2 クルーズ調査】

本報告書のI編は【A 全国調査】及び【B1 地域調査】の結果を分析したものである。ただし、「2. 訪日外国人の旅行支出」におけるクルーズ客の消費動向では【B2 クルーズ調査】の結果を使用している。

Ⅱ 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的	29
(2) 調査の沿革	29
(3) 調査の根拠法令	29
(4) 調査の対象	29
(5) 抽出方法	30
(6) 目標精度と標本サイズ	30
(7) 調査事項	31
(8) 調査の時期	31
(9) 調査の方法	31

2. 用語の解説

(1) 主要項目	32
(2) 支出費目	34
(3) 買物場所	39

3. 調査の結果

(1) 表章事項	40
(2) 集計方法	40
(3) 調査結果の精度	41
(4) 利用上の注意	41

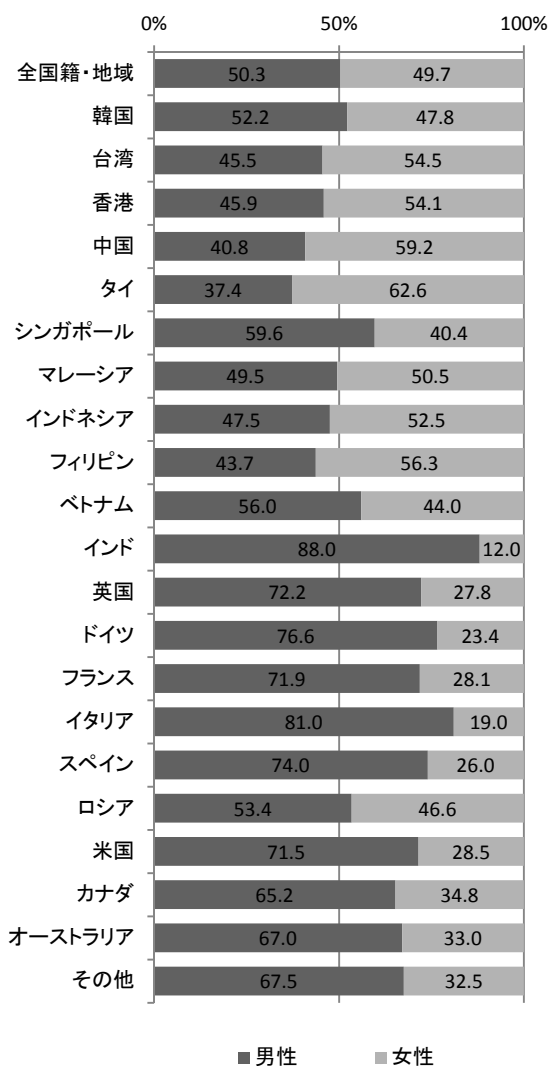
I 訪日外国人の消費動向の分析結果【2018年1-3月期(速報)】

1. 訪日外国人の属性と旅行内容

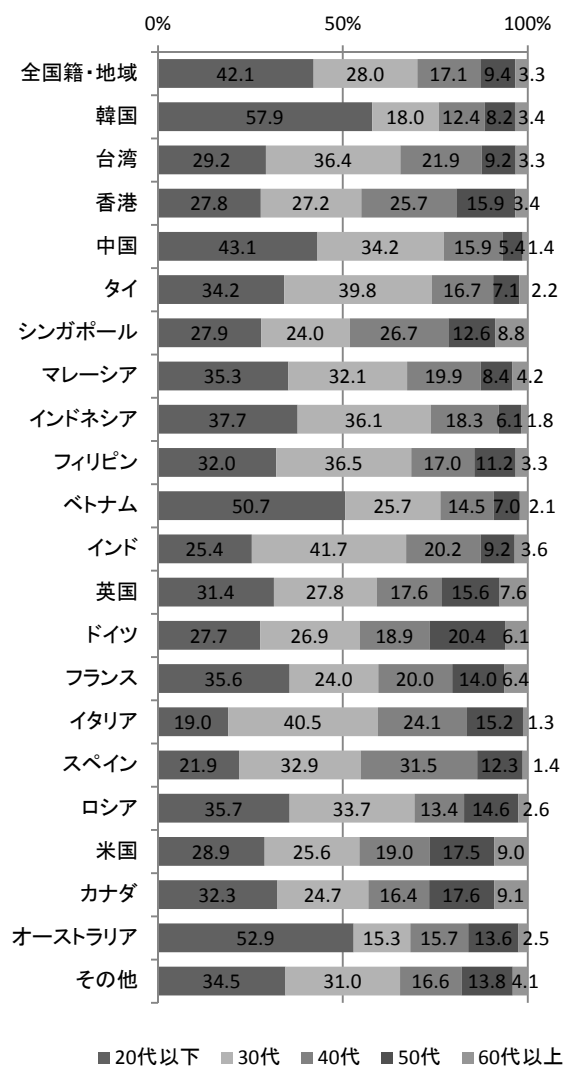
(1) 全目的

- 性別の構成比は「男性」が50.3%、「女性」が49.7%である(図表1-1)。
- 国籍・地域別にみると、台湾や香港、中国、タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピンで「女性」の割合が5割を超える。一方、インド、イタリアでは「男性」の割合が8割を超える。
- 年代別の構成比は、「20代以下」(42.1%)、「30代」(28.0%)が多い(図表1-2)。(注：年代別構成比には調査対象外である15歳未満を含まない。)
- 性年代別では「女性20代」(19.6%)、「男性20代」(17.5%)、「男性30代」(14.4%)の順が多い。

図表1-1 性別(国籍・地域別、全目的)

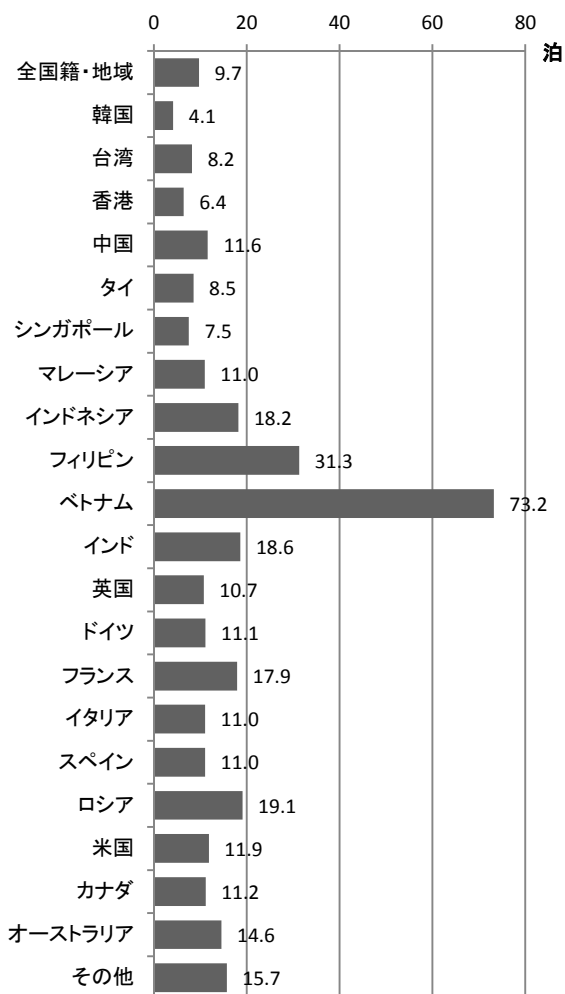


図表1-2 年代(国籍・地域別、全目的)

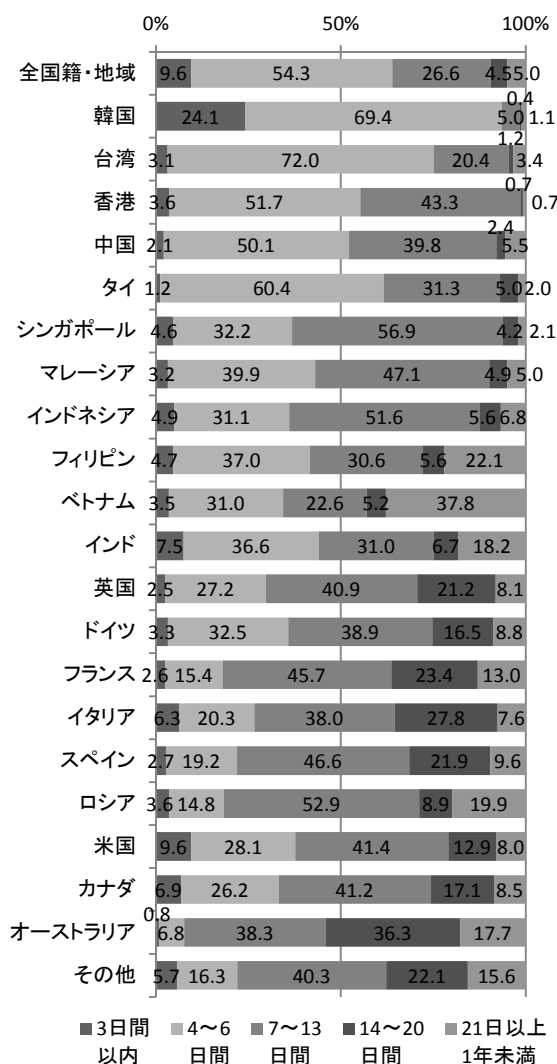


- 回答者全体の平均泊数は9.7泊である（図表1-3）。
- 国籍・地域別にみると、ベトナムで平均泊数が73.2泊と特に長い。一方で韓国は4.1泊と、他の国籍・地域に比べて平均泊数が短い。
- 滞在日数の分布をみると、6日間以内の短期滞在者が63.9%を占める（図表1-4）。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」の割合が24.1%と他の国籍・地域に比べて高い。一方、21日以上滞在者はベトナムで37.8%、フィリピンで22.1%を占めており、他の国籍・地域に比べて滞在日数が長い傾向にある。

図表 1-3 平均泊数（国籍・地域別、全目的）

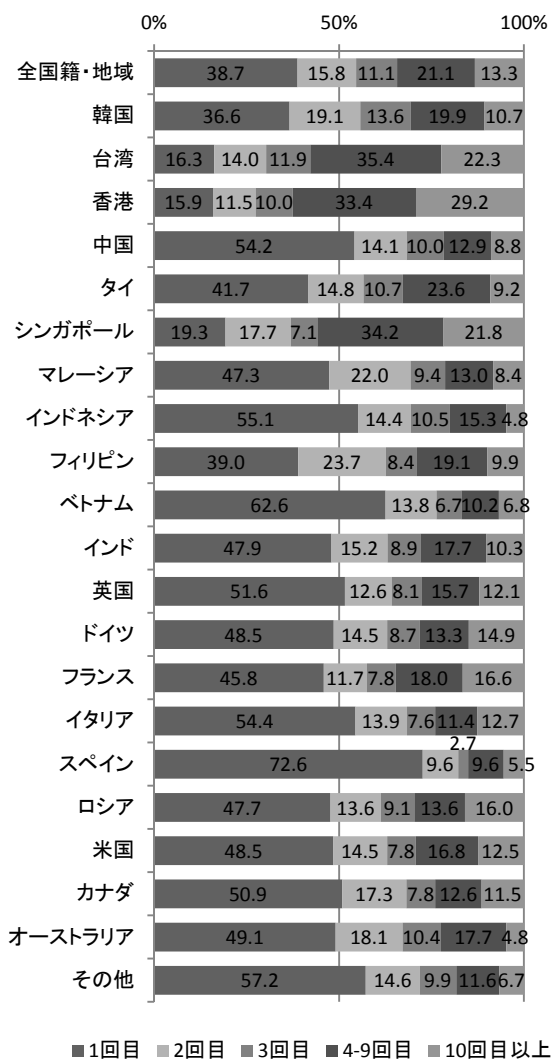


図表 1-4 滞在日数（国籍・地域別、全目的）

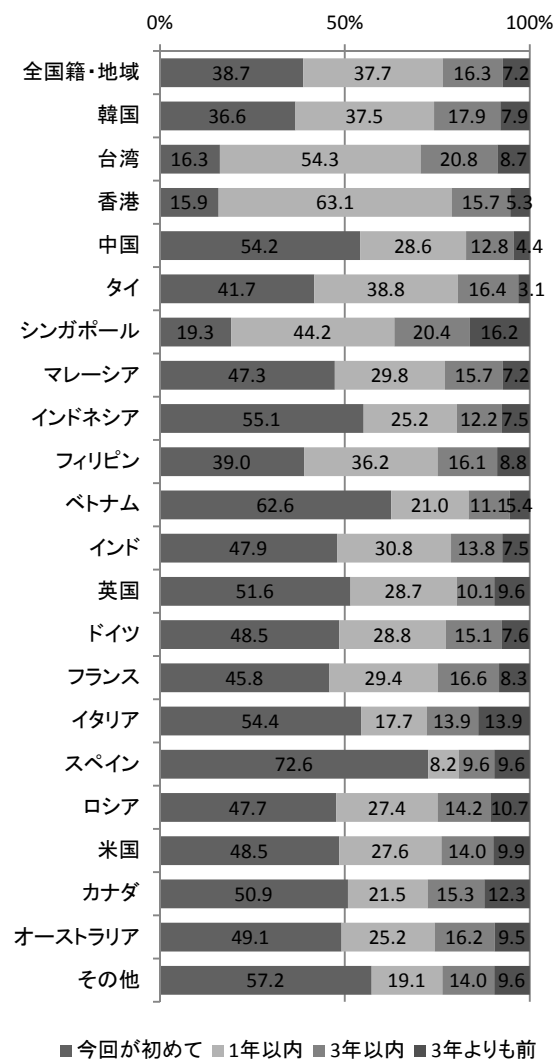


- 日本への来訪回数では、「1回目」が38.7%と最も多い。一方で「10回目以上」も13.3%と少なくない（図表1-5）。
- 国籍・地域別では、スペインで「1回目」の割合が72.6%と高い。一方、台湾や香港、シンガポールでは「1回目」の割合が2割未満と少ない。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」（38.7%）に次いで「1年以内」が37.7%と多い（図表1-6）。
- 国籍・地域別では、台湾と香港の「1年以内」の割合が5割以上と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-5 来訪回数（国籍・地域別、全目的）

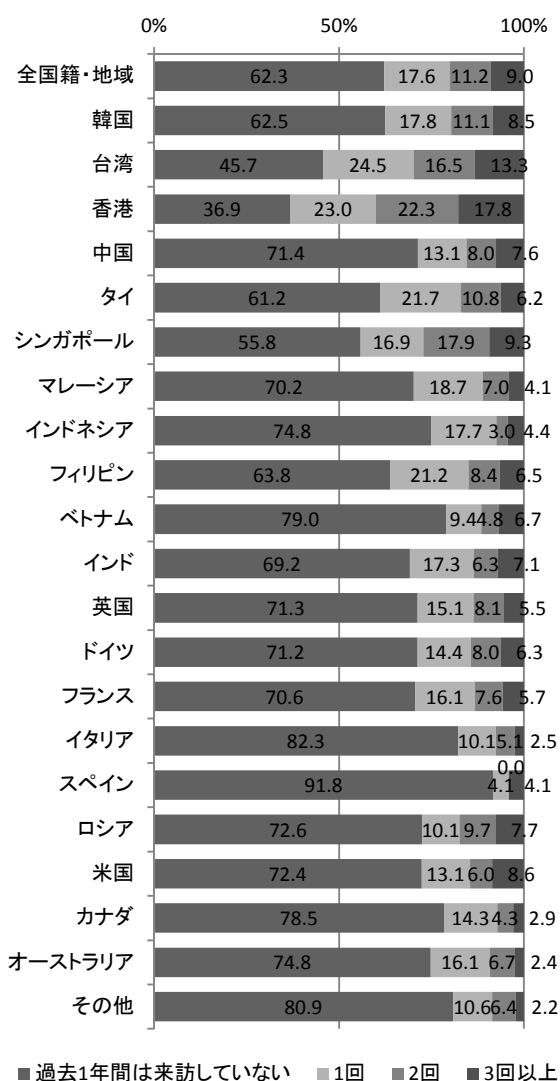


図表 1-6 前回の日本への来訪時期（国籍・地域別、全目的）

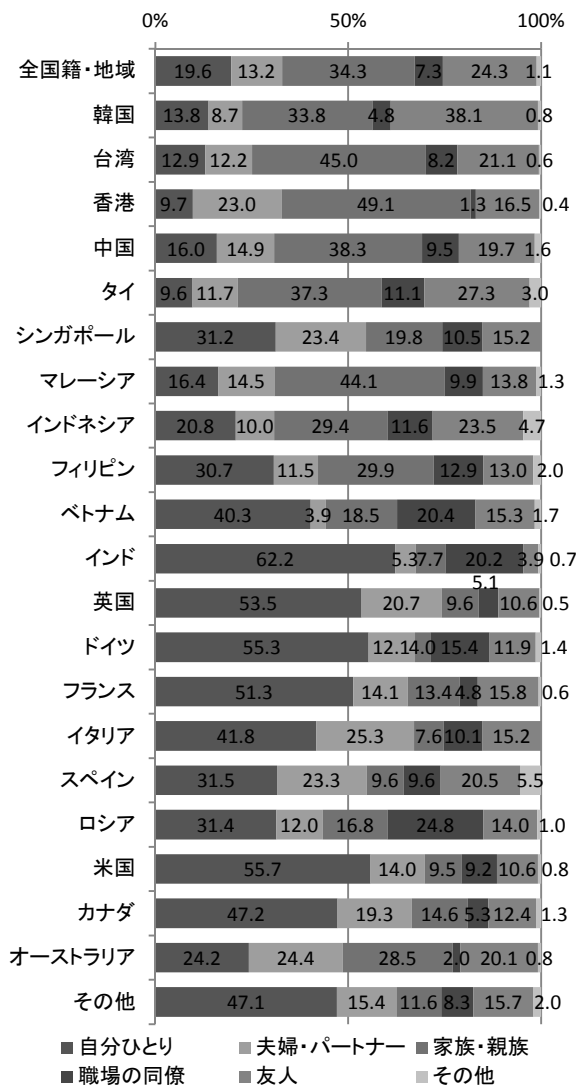


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「1回」が17.6%、「2回」が11.2%、「3回以上」が9.0%を占める（図表1-7）。
- 国籍・地域別にみると、香港では「3回以上」の割合が17.8%と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」が34.3%と最も多い。次いで「友人」（24.3%）、「自分ひとり」（19.6%）、「夫婦・パートナー」（13.2%）、「職場の同僚」（7.3%）の順となっている（図表1-8）。
- 国籍・地域別にみると、インドや英国、ドイツ、フランス、米国で「自分ひとり」の割合が5割超と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-7 過去1年間の日本への来訪回数
（国籍・地域別、全目的）

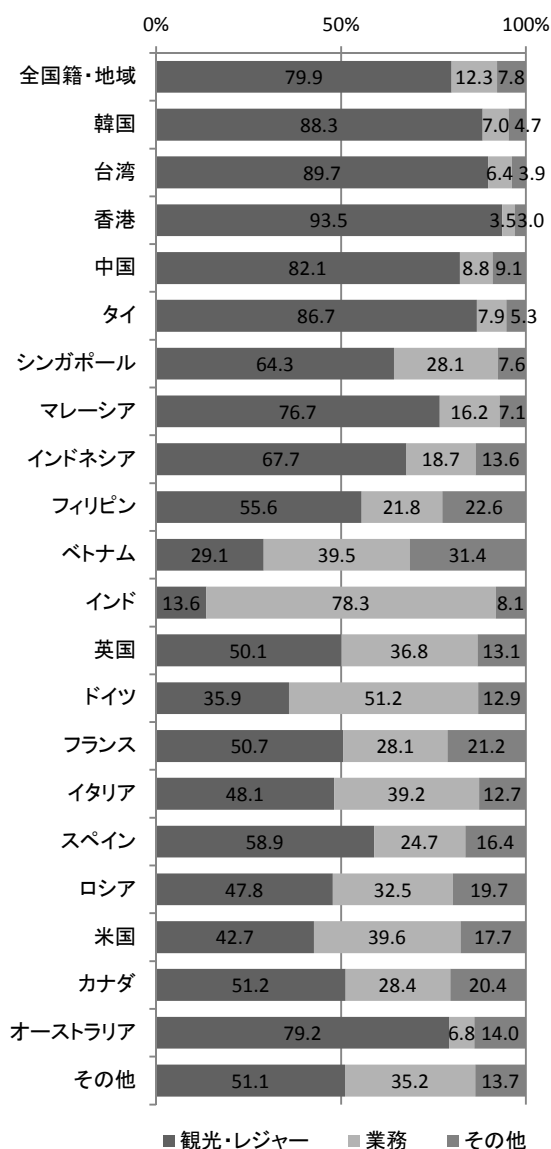


図表 1-8 同行者（国籍・地域別、全目的）

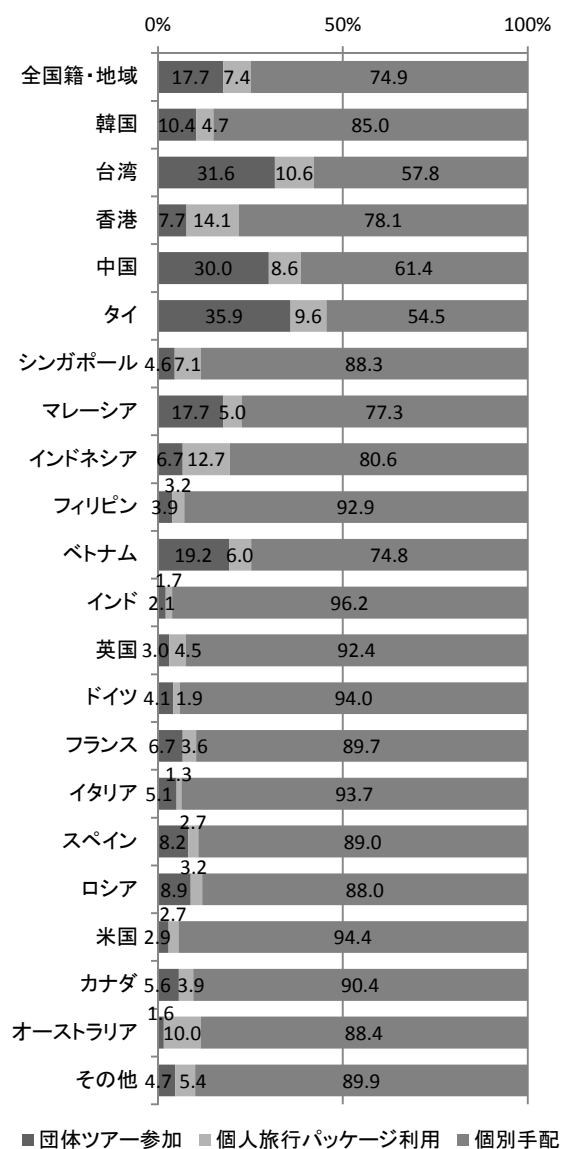


- 日本への主な来訪目的では「観光・レジャー」が全体の79.9%を占める。一方、「業務(展示会・見本市/国際会議/企業ミーティング/研修/その他ビジネス)」は全体の12.3%を占める(図表1-9)。
- 国籍・地域別では、「観光・レジャー」の割合が香港で9割超、韓国や台湾、中国、タイで8割超と高い。「業務」はインドで78.3%と他の国籍・地域に比べ高い。
- 旅行手配方法では「旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した(以下、団体ツアー参加)」が17.7%、「往復航空(船舶)券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した(以下、個人旅行パッケージ利用)」が7.4%、「往復航空(船舶)券や宿泊等を個別に手配した(以下、個別手配)」が74.9%を占める(図表1-10)。

図表 1-9 主な来訪目的(国籍・地域別、全目的)

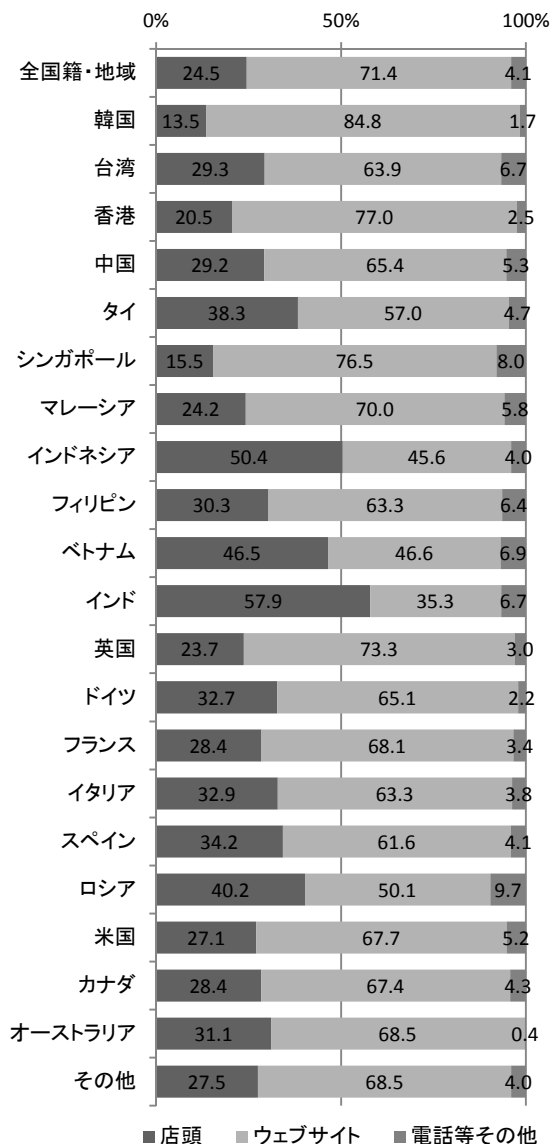


図表 1-10 旅行手配方法(国籍・地域別、全目的)



- ツアー商品や往復航空（船舶）券の**申込方法**では、「店頭（旅行会社や航空会社等）で申し込んだ（以下、**店頭**）」人の割合が全体の24.5%、「ウェブサイトから申し込んだ（以下、**ウェブサイト**）」人の割合が同71.4%を占める（図表1-11）。
- 国籍・地域別では、「店頭」の割合がインドネシアやインドで5割超と高い。

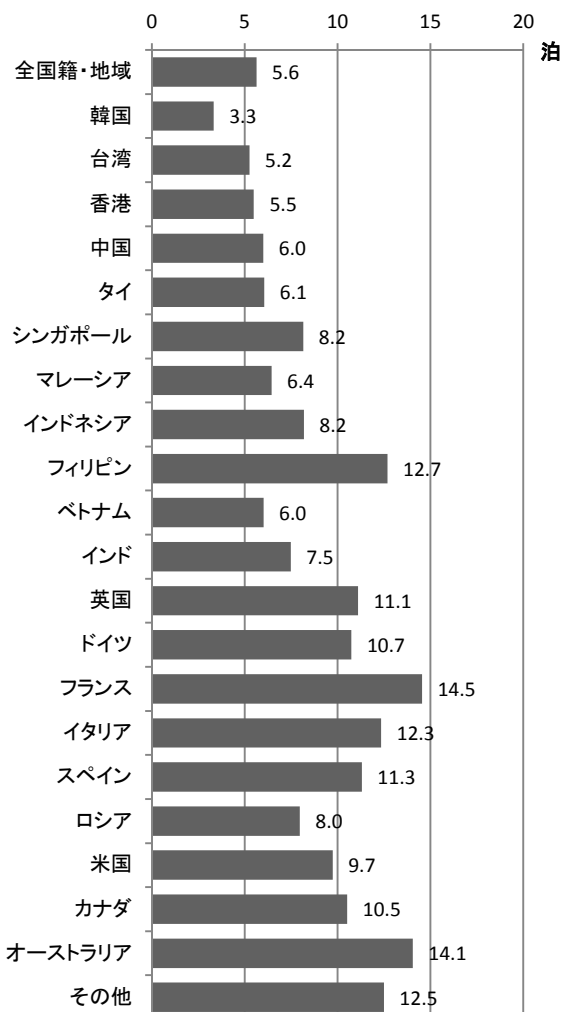
図表 1-11 申込方法（国籍・地域別、全目的）



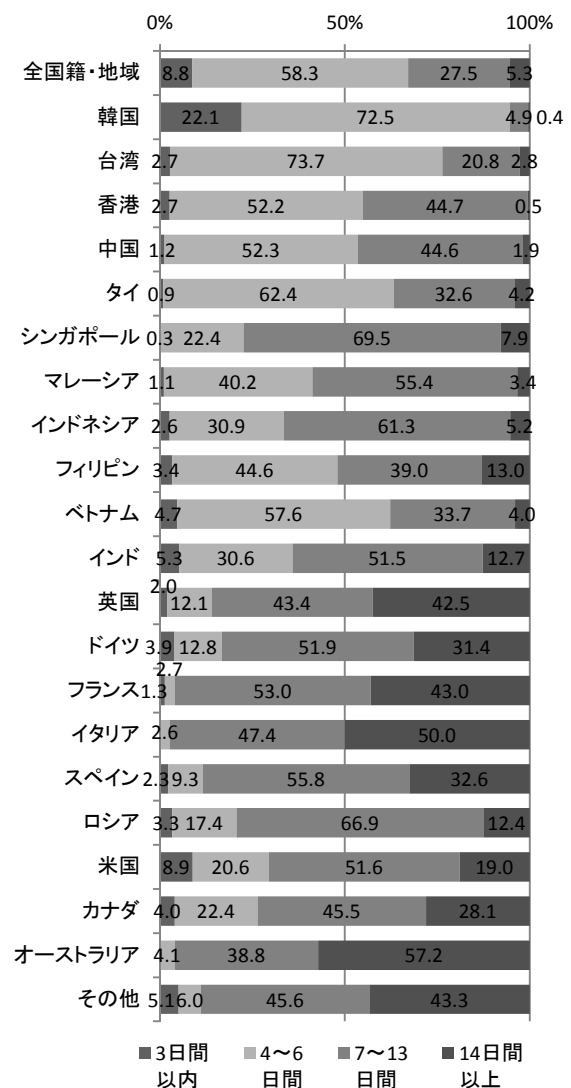
(2) 観光・レジャー目的

- 観光・レジャー目的で訪れた訪日外国人の平均泊数は5.6泊である(図表1-12)。
- 国籍・地域別にみると、フィリピンや英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、カナダ、オーストラリアで平均泊数が長く、10泊を超えている。
- 滞在日数では、6日間以内が67.1%を占める(図表1-13)。
- 国籍・地域別にみると、韓国では「3日間以内」が22.1%と他の国籍・地域に比べて多い。「14日間以上」の割合はイタリアやオーストラリアで5割以上と、他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-12 平均泊数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

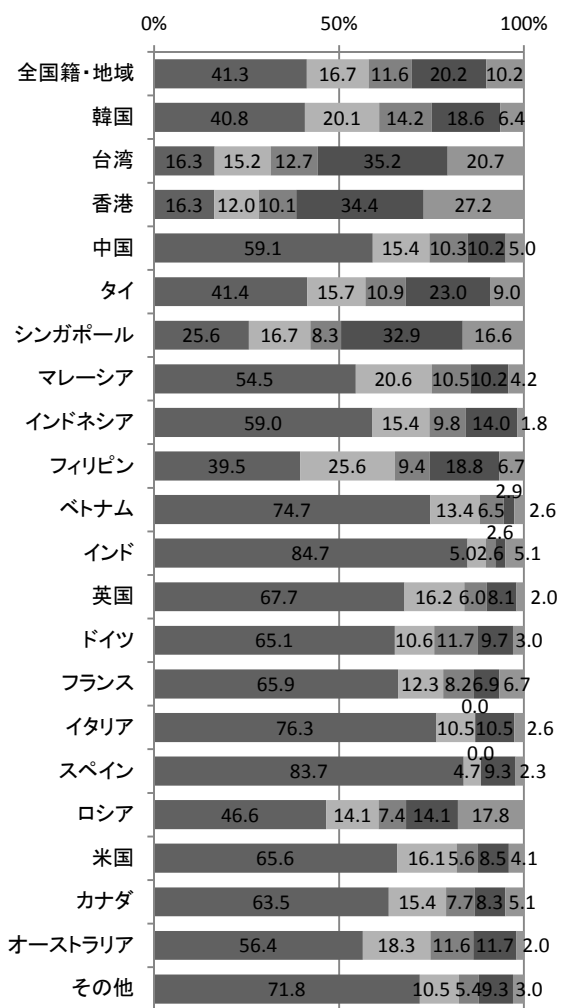


図表 1-13 滞在日数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

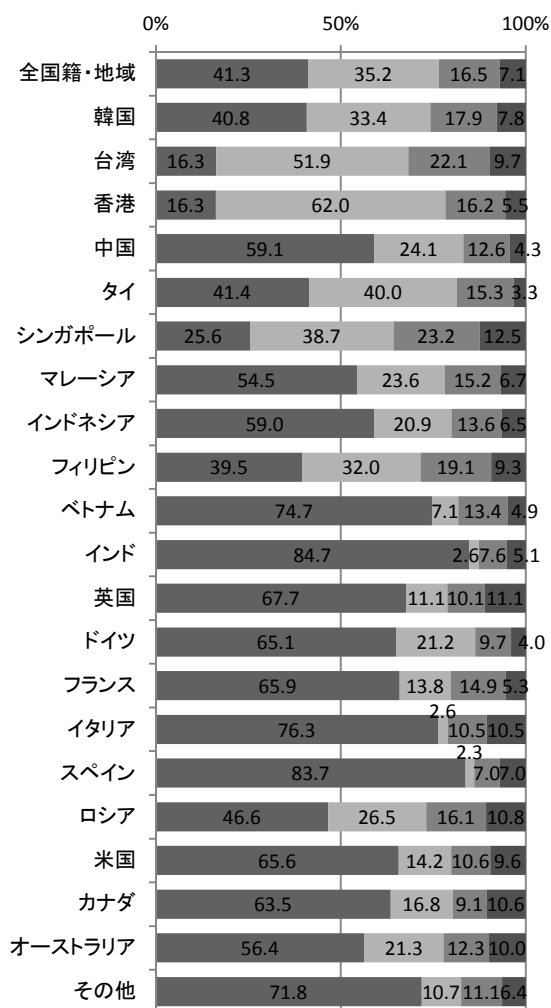


- 日本への来訪回数では、「1回目」が41.3%と最も多く、「2回目」が16.7%を占める。一方で「10回目以上」も10.2%と少なくない（図表1-14）。
- 国籍・地域別では、「1回目」の割合がインドで84.7%、スペインで83.7%と高い。一方、香港では「10回目以上」の割合が27.2%と他の国籍・地域に比べ高い。
- 前回の日本への来訪時期では、「今回が初めて」が41.3%と最も多い。一方で「1年以内」も35.2%と少なくない（図表1-15）。
- 国籍・地域別では、台湾と香港の「1年以内」の割合がそれぞれ51.9%、62.0%と他の国籍・地域に比べ高い。

図表 1-14 来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

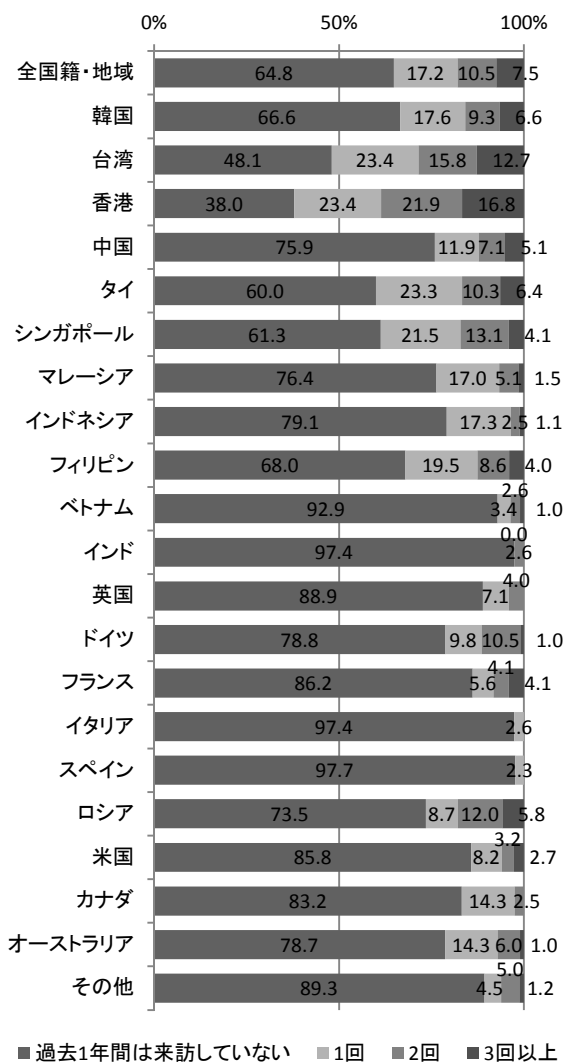


図表 1-15 前回の日本への来訪時期
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

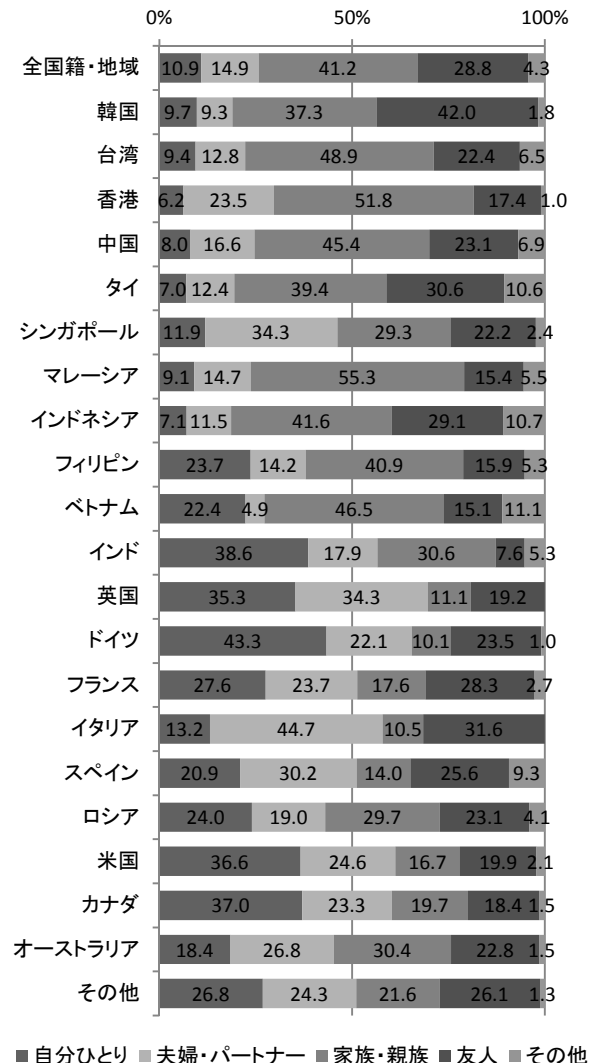


- 過去1年間の日本への来訪回数（今回を除く）では、「1回」が17.2%、「2回」が10.5%、「3回以上」が7.5%を占める（図表1-16）。
- 国籍・地域別にみると、香港では「3回以上」の割合が16.8%と、他の国籍・地域に比べて高い。
- 同行者は「家族・親族」（41.2%）、「友人」（28.8%）、「夫婦・パートナー」（14.9%）、「自分ひとり」（10.9%）の順となっている（図表1-17）。
- 国籍・地域別では、イタリアで「夫婦・パートナー」の割合が4割超、香港やマレーシアで「家族・親族」の割合が5割超と他の国籍・地域に比べて高い。

図表 1-16 過去1年間の日本への来訪回数
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)

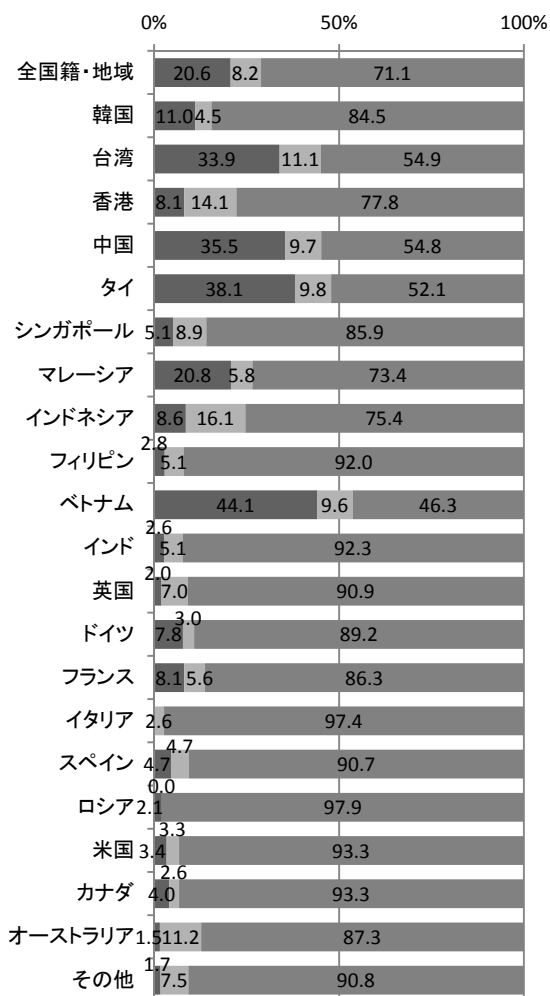


図表 1-17 同行者
(国籍・地域別、観光・レジャー目的)



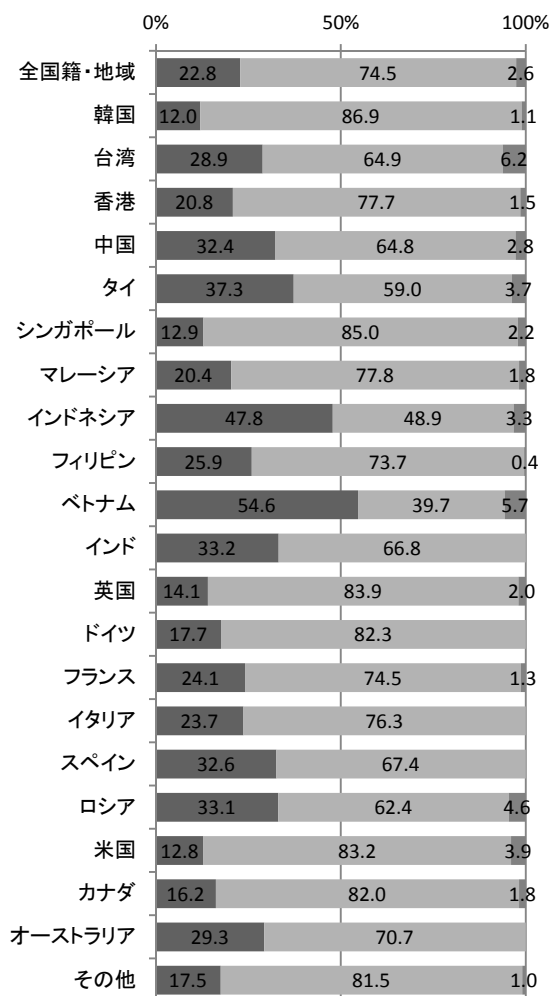
- 旅行手配方法では「団体ツアー参加」が20.6%、「個人旅行パッケージ利用」が8.2%、「個別手配」が71.1%を占める（図表 1-18）。
- 国籍・地域別では、「団体ツアー参加」の割合が台湾や中国、タイ、ベトナムで3割超と他の国籍・地域に比べて高い。一方、韓国やシンガポール、フィリピン欧米では「個別手配」の割合が8割超と他の国籍・地域に比べ高い。
- ツアー商品や往復航空（船舶）券の申込方法では、「店頭」の割合が22.8%、「ウェブサイト」の割合が74.5%を占める（図表 1-19）。
- 国籍・地域別では、ベトナムで「店頭」の割合が5割超と高い。「ウェブサイト」は韓国やシンガポール、英国、ドイツ、米国、カナダで8割以上を占める。

図表 1-18 旅行手配方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 団体ツアー参加 ■ 個人旅行パッケージ利用 ■ 個別手配

図表 1-19 申込方法
（国籍・地域別、観光・レジャー目的）



■ 店頭 ■ ウェブサイト ■ 電話等その他

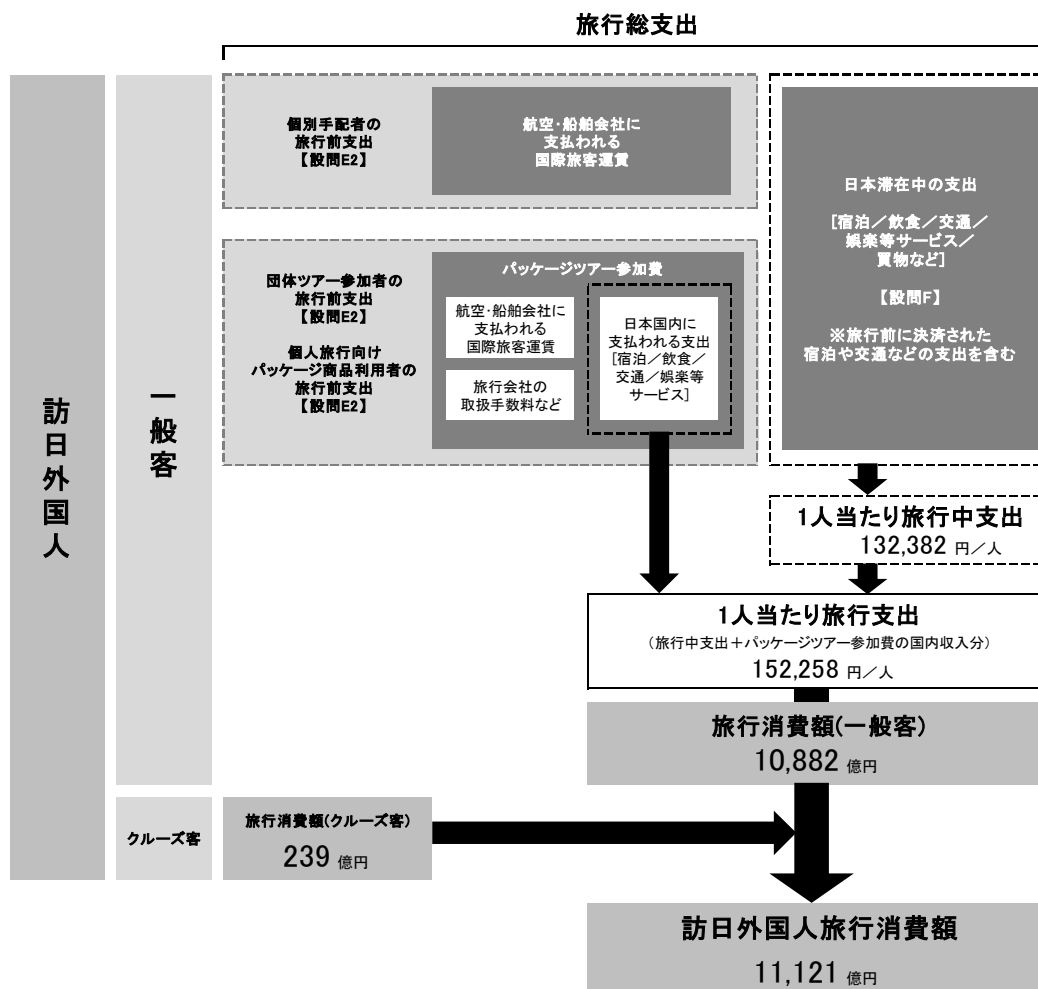
2. 訪日外国人の旅行支出

(1) 旅行支出の構造

- 本調査では、船舶観光上陸許可を得た訪日外国人をクルーズ客、これ以外の訪日外国人を一般客とする（図表 2-1）。
- 旅行前支出は旅行手配方法別に捉え方が異なる。団体ツアー参加者^{注1}及び個人旅行パッケージ利用者^{注2}についてはパッケージツアー参加費を旅行前支出として尋ねている。一方、個別手配者^{注3}については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃を旅行前支出として尋ねている。
- 旅行中支出とは、日本滞在中の支出であり、宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代など日本滞在中に支払ったすべての支出金額を尋ねている。

注1) 旅行会社等が企画した団体ツアーに参加した人
 注2) 往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった個人旅行向けパッケージ商品を利用した人
 注3) 往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配した人

図表 2-1 訪日外国人消費動向調査における旅行支出の構造 概念図



- **パッケージツアー参加費**には、日本国内に支払われる支出（宿泊／飲食／交通／娯楽等サービス）や航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃などが含まれる。本調査では、このうち日本国内に支払われる支出（以下、国内収入分）を旅行中支出に加算することにより、一般客の旅行消費額（総額）を推計する。ただし、クルーズ客ではパッケージツアー参加費の国内収入分の加算は行わない。
- **個別手配者の国際旅客運賃**（出発国から日本までの往復運賃）の購入者単価は一般客1人当たり平均63,050円であった。

(3) 旅行中支出

(2) 旅行前支出

- 一般客における**団体ツアー**の購入者単価は1人当たり平均124,256円、**個人旅行パッケージ**の購入者単価は1人当たり平均126,836円であった（図表2-2）。
- 旅行前支出と旅行中支出を合算した**旅行総支出**は、一般客1人当たり平均211,004円であった（図表2-4）。

図表 2-2 一般客1人当たり旅行前支出（旅行手配方法別）

【団体ツアー参加者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	団体ツアー参加率	団体ツアー購入者単価
全国籍・地域	17.7%	124,256
韓国	10.4%	93,223
台湾	31.6%	124,392
香港	7.7%	135,027
中国	30.0%	123,658
タイ	35.9%	115,640
シンガポール	4.6%	272,170
マレーシア	17.7%	167,086
インドネシア	6.7%	167,492
フィリピン	3.9%	117,458
ベトナム	19.2%	167,398
インド	2.1%	99,286
英国	3.0%	406,464
ドイツ	4.1%	225,744
フランス	6.7%	311,985
イタリア	5.1%	375,180
スペイン	8.2%	414,482
ロシア	8.9%	126,392
米国	2.9%	256,176
カナダ	5.6%	241,317
オーストラリア	1.6%	394,563
その他	4.7%	157,349

【個人旅行パッケージ利用者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	個人旅行パッケージ利用率	個人旅行パッケージ購入者単価
全国籍・地域	7.4%	126,836
韓国	4.7%	75,440
台湾	10.6%	84,494
香港	14.1%	107,194
中国	8.6%	150,894
タイ	9.6%	137,723
シンガポール	7.1%	177,007
マレーシア	5.0%	139,982
インドネシア	12.7%	174,866
フィリピン	3.2%	114,512
ベトナム	6.0%	196,352
インド	1.7%	148,203
英国	4.5%	502,887
ドイツ	1.9%	202,756
フランス	3.6%	568,162
イタリア	1.3%	255,224
スペイン	2.7%	299,354
ロシア	3.2%	124,363
米国	2.7%	205,022
カナダ	3.9%	179,673
オーストラリア	10.0%	274,610
その他	5.4%	213,856

【個別手配者】

国籍・地域	(%) (円/人)	
	個別手配比率	国際旅客運賃購入者単価
全国籍・地域	74.9%	63,050
韓国	85.0%	32,046
台湾	57.8%	48,158
香港	78.1%	58,488
中国	61.4%	65,100
タイ	54.5%	78,558
シンガポール	88.3%	85,081
マレーシア	77.3%	66,270
インドネシア	80.6%	67,824
フィリピン	92.9%	50,115
ベトナム	74.8%	71,868
インド	96.2%	97,054
英国	92.4%	141,279
ドイツ	94.0%	136,673
フランス	89.7%	131,767
イタリア	93.7%	136,116
スペイン	89.0%	87,232
ロシア	88.0%	70,445
米国	94.4%	143,246
カナダ	90.4%	124,602
オーストラリア	88.4%	97,860
その他	89.9%	116,782

図表 2-3 一般客 1 人当たり旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	b.平均泊数	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行中支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行中支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	
全国籍・地域	132,382	80,645	115,118	146,322	9.7	13,651	17,328	17,570	13,062	
韓国	70,344	28,777	37,623	77,220	4.1	17,119	9,937	13,055	17,855	
台湾	109,845	62,414	83,887	140,557	8.2	13,405	15,162	19,085	12,638	
香港	137,264	56,557	123,858	147,677	6.4	21,399	12,936	23,791	21,605	
中国	203,566	129,733	194,899	240,871	11.6	17,536	25,070	35,165	15,436	
タイ	107,342	47,064	97,821	148,771	8.5	12,597	12,100	8,142	13,577	
シンガポール	142,314	27,866	79,329	153,307	7.5	18,884	4,133	8,853	20,544	
マレーシア	119,666	47,210	98,912	137,571	11.0	10,916	8,794	15,754	10,967	
インドネシア	138,503	38,293	42,894	161,949	18.2	7,616	8,535	7,626	7,599	
フィリピン	105,667	69,300	27,684	109,894	31.3	3,379	4,086	4,933	3,354	
ベトナム	197,299	80,055	137,199	232,225	73.2	2,694	16,813	2,753	2,505	
インド	167,937	99,353	31,362	171,911	18.6	9,014	8,303	7,094	9,032	
英国	184,224	129,250	103,850	189,960	10.7	17,181	14,080	8,409	17,764	
ドイツ	152,782	79,125	44,496	158,148	11.1	13,751	10,071	4,802	14,009	
フランス	178,577	35,288	358,609	182,149	17.9	9,949	3,977	4,829	11,117	
イタリア	184,117	76,280	166,552	190,184	11.0	16,680	17,948	11,103	16,754	
スペイン	152,369	111,640	69,251	158,686	11.0	13,852	11,353	8,147	14,188	
ロシア	163,144	68,092	122,370	174,187	19.1	8,553	7,757	8,559	8,587	
米国	163,565	79,027	105,047	167,811	11.9	13,796	6,567	11,136	14,079	
カナダ	158,515	105,563	146,994	162,313	11.2	14,203	4,008	17,146	15,714	
オーストラリア	222,874	117,706	159,919	231,951	14.6	15,295	10,674	12,367	15,648	
その他	177,028	120,824	170,750	180,350	15.7	11,255	8,246	8,689	11,598	

図表 2-4 一般客 1 人当たり旅行総支出（国籍・地域別）

国籍・地域	(円/人)	(円/人)	(円/人)	(円/人)	b.平均泊数	(泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)	(円/人泊)
	a.旅行総支出	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者		c.1泊当たり旅行総支出 (=a/b)	団体ツアー参加者	個人旅行パッケージ利用者	個別手配者	
全国籍・地域	211,004	204,901	241,954	209,371	9.7	21,758	44,028	36,929	18,690	
韓国	110,764	122,000	113,063	109,266	8.2	26,956	42,127	39,234	25,265	
台湾	185,959	186,806	168,381	188,715	6.4	22,694	45,379	38,309	16,969	
香港	208,559	191,584	231,052	206,165	11.6	32,514	43,821	44,380	30,162	
中国	293,624	253,391	345,793	305,971	8.5	25,294	48,967	62,390	19,608	
タイ	204,914	162,703	235,544	227,329	7.5	24,048	41,832	19,606	20,746	
シンガポール	242,482	300,036	256,336	238,389	11.0	32,176	44,498	28,606	31,945	
マレーシア	207,441	214,296	238,895	203,841	18.2	18,923	39,918	38,050	16,250	
インドネシア	226,634	205,786	217,759	229,773	31.3	12,462	45,867	38,713	10,782	
フィリピン	160,467	186,758	142,195	160,009	73.2	5,131	11,012	25,336	4,884	
ベトナム	294,961	247,453	333,551	304,093	18.6	4,027	51,970	6,692	3,280	
インド	265,929	198,639	179,565	268,965	10.7	14,274	16,601	40,617	14,131	
英国	349,903	535,714	606,737	331,239	11.1	32,632	58,358	49,129	30,976	
ドイツ	294,335	304,869	247,252	294,820	17.9	26,491	38,802	26,685	26,116	
フランス	338,066	347,274	926,770	313,916	11.0	18,835	39,137	12,480	19,158	
イタリア	333,845	451,460	421,776	326,300	11.0	30,245	106,226	28,118	28,745	
スペイン	272,310	526,122	368,604	245,918	19.1	24,755	53,504	43,365	21,987	
ロシア	240,255	194,485	246,733	244,632	11.9	12,595	22,156	17,257	12,060	
米国	311,724	335,203	310,069	311,058	11.2	26,293	27,853	32,869	26,096	
カナダ	291,856	346,880	326,668	286,915	14.6	26,150	13,170	38,104	27,777	
オーストラリア	343,273	512,269	434,528	329,811	15.7	23,558	46,456	33,603	22,251	
その他	300,967	278,173	384,606	297,132	0.0	19,134	18,985	19,571	19,108	

(4) 旅行支出の推計

- 一般客の旅行支出及び旅行消費額は、訪日外国人が日本国内で支払った旅行中支出に、パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費などの国内収入分（以下、パッケージ内訳）を加算することにより推計する。
- 今期のパッケージ内訳は1人当たり平均19,876円と推計される（図表2-5）。
- 旅行中支出にパッケージ内訳を加えた今期の旅行支出は1人当たり平均152,258円と推計され、今期の一般客の旅行消費額は1兆882億円と推計される。
- これにクルーズ客の旅行消費額239億円を加算し、2018年1-3月期の訪日外国人旅行消費額は1兆1,121億円と推計される。

図表2-5 訪日外国人1人当たり旅行支出と訪日外国人旅行消費額の推移

暦年	四半期	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)	(億円)	(円/人)		(人)	(億円)	(億円)
		一般客										クルーズ客		
		a.	b.	c.	d.	e.	f.	g.	h.	k.				
		日本国内での旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)	パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分 (パッケージ内訳)	旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)	一般客数	旅行消費額 (=c×d)	旅行中支出	クルーズ客数	旅行消費額 (=f×g)	訪日外国人旅行消費額 (=e+h)				
		注1	注1・注2	注1	注1・注3	注1		注4		注1				
		注5	前年比	注5	前年比	注5	前年比							
2017年(平成29年)		130,653	1.0%	23,268	-12.3%	153,921	-1.3%	28,691,073		44,162				
2018年(平成30年)														
2017年1-3月期		126,889	-7.1%	21,181	-15.9%	148,070	-8.5%	6,537,103		9,680				
2017年4-6月期		126,384	-2.4%	22,865	-25.0%	149,249	-6.7%	7,220,129		10,776				
2017年7-9月期		140,339	9.8%	25,074	-8.0%	165,413	6.6%	7,439,352		12,306				
2017年10-12月期		128,433	3.6%	23,684	2.3%	152,118	3.4%	7,494,489		11,400				
2018年1-3月期		132,382	4.3%	19,876	-6.2%	152,258	2.8%	7,147,019	50,662	471,643	239	11,121		
2018年4-6月期														
2018年7-9月期														
2018年10-12月期														

注1) 訪日外客数(JNTO)の更新等に伴い、前期公表値から一部数値を改訂している。
 注2) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。
 注3) 2017年以前は訪日外客数(JNTO、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。
 注4) 船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の人数(法務省「出入国管理統計」)
 注5) 2018年より調査方法を変更したため「前年比」は参考値。

【一般客の旅行消費額の推計方法（パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分の加算）】

一般客のパッケージツアー参加費には、「出発国から日本までの往復運賃」に加え、日本に支払われる「宿泊費」「飲食費」「交通費」「娯楽等サービス費」が含まれているものと仮定する。これらの費目のうち、「出発国から日本までの往復運賃」を除く費目の支出を、日本国内に支払われる支出（国内収入分）とみなす。

一般客の旅行消費額は、「旅行中支出」に「パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分」の金額を加算することにより推計する。パッケージツアー参加費の内訳は、観光・レジャー目的の個人手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて配分した。なお、この配分は国籍・地域毎（20市場と「その他の国籍・地域」の21区分）に行っている。

なお、本報告書で推計している訪日外国人旅行消費額には、日本の航空会社及び船舶会社に支払われる国際旅客運賃（往復運賃）が含まれない点に留意されたい。

- 一般客の旅行支出を国籍・地域別にみると、オーストラリア（24.6万円）、中国（23.6万円）、ベトナム（22.2万円）の順で高い。また、韓国（7.9万円）は他の国籍・地域に比べて旅行支出が低い（図表2-6）。
- 一般客の旅行消費額を国籍・地域別にみると、①中国3,638億円（構成比33.4%）、②韓国1,676億円（同15.4%）、③台湾1,545億円（同14.2%）、④香港815億円（同7.5%）、⑤米国548億円（同5.0%）の順となっている。
- 前述の上位5ヶ国・地域合計で8,223億円（構成比75.6%）を占める。エリア別では、東アジア4ヶ国・地域合計で7,675億円（同70.5%）、東南アジア6ヶ国（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム）合計で1,121億円（同10.3%）、欧州5ヶ国（英国、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン）合計で438億円（同4.0%）となっている。

図表2-6 一般客1人当たり旅行支出と旅行消費額（国籍・地域別）

2018年1-3月期	(円/人)		(円/人)		(円/人)		(人)		(億円)	
	a. 日本国内での 旅行中支出 (パッケージ内訳を含まない)		b. パッケージ ツアー参加費 に含まれる 国内収入分 (パッケージ内訳)		c. 旅行支出 (パッケージ内訳を含む) (=a+b)		d. 一般客数 ^{注2} (クルーズ客を除く)		e. 旅行消費額 (クルーズ客を除く) (=c×d)	
	注3	前年比	注1	注3	前年比	注2	前年比		構成比	
全国籍・地域	132,382	4.3%	19,876	152,258	2.8%	7,147,019	16.3%	10,882	100.0%	
韓国	70,344	18.2%	8,306	78,650	14.2%	2,131,018	24.4%	1,676	15.4%	
台湾	109,845	13.6%	30,641	140,486	8.9%	1,099,974	9.3%	1,545	14.2%	
香港	137,264	-1.5%	16,250	153,514	-6.0%	531,083	8.6%	815	7.5%	
中国	203,566	6.3%	32,680	236,245	4.8%	1,540,079	18.3%	3,638	33.4%	
タイ	107,342	-13.5%	31,859	139,201	-1.9%	280,260	11.5%	390	3.6%	
シンガポール	142,314	-11.2%	16,217	158,531	-10.0%	82,449	15.1%	131	1.2%	
マレーシア	119,666	31.9%	20,936	140,602	20.9%	113,371	8.4%	159	1.5%	
インドネシア	138,503	12.4%	21,841	160,344	19.0%	83,172	9.3%	133	1.2%	
フィリピン	105,667	7.8%	5,031	110,698	5.4%	105,176	21.4%	116	1.1%	
ベトナム	197,299	27.2%	25,165	222,464	37.5%	85,967	16.1%	191	1.8%	
インド	167,937	13.4%	2,297	170,234	14.4%	32,962	14.7%	56	0.5%	
英国	184,224	21.0%	21,570	205,794	23.2%	77,645	14.2%	160	1.5%	
ドイツ	152,782	21.5%	7,806	160,588	9.6%	48,909	16.2%	79	0.7%	
フランス	178,577	5.8%	24,840	203,417	10.3%	56,027	8.3%	114	1.0%	
イタリア	184,117	36.0%	12,282	196,399	37.4%	25,473	16.3%	50	0.5%	
スペイン	152,369	-36.4%	26,188	178,557	-28.2%	19,761	47.5%	35	0.3%	
ロシア	163,144	-10.7%	9,832	172,977	-11.8%	19,285	27.1%	33	0.3%	
米国	163,565	10.0%	7,601	171,166	8.2%	320,202	10.8%	548	5.0%	
カナダ	158,515	18.2%	11,622	170,138	13.2%	74,455	7.5%	127	1.2%	
オーストラリア	222,874	-0.7%	23,097	245,972	2.2%	160,873	14.8%	396	3.6%	
その他	177,028	6.5%	11,528	188,556	9.7%	258,878	12.4%	488	4.5%	

注1) パッケージツアー参加費に含まれる国内収入分は、パッケージツアーに参加していない個人手配者(参加費0円)も含めた全体平均の値である。

注2) 訪日外客数(JNTO、暫定値)からクルーズ客数を控除した値。

注3) 2018年から調査方法を変更したためa及びbの「前年比」は参考値。

(5) 費目別にみる旅行支出

- 一般客の費目別旅行支出（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、「宿泊費」はオーストラリアで9.6万円、「買物代」は中国で11.7万円と高い（図表2-7）。
- 一般客の費目別旅行消費額（パッケージ内訳を含む）を国籍・地域別にみると、いずれの費目も中国が最も高くなっている。特に「買物代」は1,805億円と他の国籍・地域に比べ突出して高い。
- 旅行消費額の費目別構成比をみると、インドや英国、ドイツ、米国では「宿泊費」の割合が4割超と高い傾向がみられる。中国では「買物代」が49.6%と高い割合を占める（図表2-8）。

図表2-7 費目別にみる一般客1人当たり旅行支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行支出】						
	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	152,258	44,496	32,800	16,123	6,509	52,274	56
韓国	78,650	24,960	19,419	7,833	3,970	22,467	1
台湾	140,486	37,253	30,987	14,230	5,882	52,132	2
香港	153,514	45,345	34,591	16,652	6,934	49,948	43
中国	236,245	50,002	41,600	19,515	7,771	117,195	163
タイ	139,201	41,808	29,308	16,861	6,432	44,673	118
シンガポール	158,531	61,582	34,365	22,614	6,387	33,583	0
マレーシア	140,602	45,661	29,486	17,673	6,927	40,855	0
インドネシア	160,344	52,921	36,051	24,379	8,725	38,267	0
フィリピン	110,898	30,725	26,708	15,994	4,553	32,717	0
ベトナム	222,464	71,745	57,148	23,991	5,250	63,973	357
インド	170,234	85,324	35,563	21,612	2,306	25,430	0
英国	205,794	84,926	56,427	29,211	13,656	21,573	0
ドイツ	160,588	74,965	34,010	21,141	5,950	24,225	297
フランス	203,417	78,575	54,355	33,633	5,783	31,070	0
イタリア	196,399	72,471	43,160	34,716	9,483	36,569	0
スペイン	178,557	65,438	44,515	30,164	8,473	29,966	0
ロシア	172,977	51,517	35,807	19,720	10,936	54,997	0
米国	171,166	76,291	43,509	24,815	6,601	19,928	22
カナダ	170,138	64,886	48,933	22,845	8,136	25,305	33
オーストラリア	245,972	96,455	60,347	31,236	23,560	34,284	90
その他	188,556	79,583	43,234	27,781	8,834	29,057	67

図表2-8 費目別にみる一般客の旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】							【費目別旅行消費額 構成比】(ヨコ計100%)					
	消費額総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス費	買物代	その他
全国籍・地域	10,882	3,180	2,344	1,152	465	3,736	4	29.2%	21.5%	10.6%	4.3%	34.3%	0.0%
韓国	1,676	532	414	167	85	479	0	31.7%	24.7%	10.0%	5.0%	28.6%	0.0%
台湾	1,545	410	341	157	65	573	0	26.5%	22.1%	10.1%	4.2%	37.1%	0.0%
香港	815	241	184	88	37	265	0	29.5%	22.5%	10.8%	4.5%	32.5%	0.0%
中国	3,638	770	641	301	120	1,805	3	21.2%	17.6%	8.3%	3.3%	49.6%	0.1%
タイ	390	117	82	47	18	125	0	30.0%	21.1%	12.1%	4.6%	32.1%	0.1%
シンガポール	131	51	28	19	5	28	0	38.8%	21.7%	14.3%	4.0%	21.2%	0.0%
マレーシア	159	52	33	20	8	46	0	32.5%	21.0%	12.6%	4.9%	29.1%	0.0%
インドネシア	133	44	30	20	7	32	0	33.0%	22.5%	15.2%	5.4%	23.9%	0.0%
フィリピン	116	32	28	17	5	34	0	27.8%	24.1%	14.4%	4.1%	29.6%	0.0%
ベトナム	191	62	49	21	5	55	0	32.3%	25.7%	10.8%	2.4%	28.8%	0.2%
インド	56	28	12	7	1	8	0	50.1%	20.9%	12.7%	1.4%	14.9%	0.0%
英国	160	66	44	23	11	17	0	41.3%	27.4%	14.2%	6.6%	10.5%	0.0%
ドイツ	79	37	17	10	3	12	0	46.7%	21.2%	13.2%	3.7%	15.1%	0.2%
フランス	114	44	30	19	3	17	0	38.6%	26.7%	16.5%	2.8%	15.3%	0.0%
イタリア	50	18	11	9	2	9	0	36.9%	22.0%	17.7%	4.8%	18.6%	0.0%
スペイン	35	13	9	6	2	6	0	36.6%	24.9%	16.9%	4.7%	16.8%	0.0%
ロシア	33	10	7	4	2	11	0	29.8%	20.7%	11.4%	6.3%	31.8%	0.0%
米国	548	244	139	79	21	64	0	44.6%	25.4%	14.5%	3.9%	11.6%	0.0%
カナダ	127	48	36	17	6	19	0	38.1%	28.8%	13.4%	4.8%	14.9%	0.0%
オーストラリア	396	155	97	50	38	55	0	39.2%	24.5%	12.7%	9.6%	13.9%	0.0%
その他	488	206	112	72	23	75	0	42.2%	22.9%	14.7%	4.7%	15.4%	0.0%

(6) 来訪目的別にみる旅行支出

- 来訪目的別に一般客の旅行支出（パッケージ内訳を含む）をみると、「観光・レジャー」は1人当たり平均146,626円、「業務」は同151,856円、「その他」は同210,290円などとなっている（図表2-9）。

図表2-9 来訪目的別にみる一般客1人当たり旅行支出（主要国籍・地域別）

主な来訪目的		観光・レジャー	業務 注1	その他 注2	MICE 関連 注3 (再掲)
旅行 支出 (円/人)	全国籍・地域	146,626	151,856	210,290	133,434
	韓国	74,316	96,193	134,108	65,618
	台湾	137,781	122,751	232,236	98,885
	香港	154,851	98,696	175,623	102,209
	中国	234,584	202,220	284,500	193,437
	米国	179,742	175,594	140,619	160,258

【参考】

一般客 目的別 構成比 (%)	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	米国	
合計=100	79.9	12.3	7.8	6.9	4.1	18.8	
	88.3	7.0	4.7	5.2	1.6	4.1	
	89.7	6.4	3.9	1.6	4.1	18.8	
	93.5	3.5	3.0	1.6	4.1	18.8	
	82.1	8.8	9.1	4.1	18.8		
	42.7	39.6	17.7	18.8			

回答数注4	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	米国	
	5,321	1,866	959	1,016	39	31	
	733	67	48	11	42	238	
	580	40	22	11	42	238	
	630	26	20	11	42	238	
	851	91	93	42	238		
	537	498	224	238			

注1)「業務」は、主な来訪目的が「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」「その他ビジネス」の回答の集計結果である。
 注2)「その他」は、主な来訪目的が「親族・知人訪問」「ハネムーン」「学校関連の旅行」「スポーツ・スポーツ観戦」「イベント」「留学」「治療・検診」「インセンティブツアー」「トランジット」「その他」の回答の集計結果である。
 注3)「MICE関連」は、主な来訪目的が「イベント」「インセンティブツアー」「展示会・見本市」「国際会議」「企業ミーティング」「研修」の回答の集計結果である。
 注4) 回答数の少ない数値については取り扱いに留意されたい。

(7) クルーズ客の旅行中支出

- クルーズ客の旅行中支出は1人当たり平均50,662円であった（図表2-10）。
- 費目別にみると、「買物代」が1人当たり平均47,945円、「飲食費」が同2,255円などとなっている（図表2-11）。
- クルーズ客の旅行消費額は239億円と推計される。費目別では、「買物代」が226億円、「飲食費」が11億円などとなっている（図表2-12）。

図表2-10 クルーズ客1人当たり旅行中支出と旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	a. 旅行中支出 (円/人)	b. クルーズ客数 (人)		c. 旅行消費額 (=a×b) (億円)
		注1	前年比	
全国籍・地域	50,662	471,643	19.8%	239
台湾	37,081	38,744	41.7%	14
中国	51,698	403,478	16.2%	209
その他注2	54,344	29,421	55.1%	16

注1) 船舶観光上陸許可を受けて日本に特例上陸した外国人の人数（法務省「出入国管理統計」）
 注2) 国籍・地域毎で標本サイズが不十分な場合は「その他」国籍に統合している。

図表2-11 クルーズ客1人当たり費目別旅行中支出（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行中支出】 (円/人)					
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代 その他
全国籍・地域	50,662	0	2,255	244	218	47,945
台湾	37,081	0	1,213	1,872	382	33,615
中国	51,698	0	2,322	84	203	49,089
その他	54,344	0	2,705	299	203	51,137

図表2-12 クルーズ客費目別旅行消費額（国籍・地域別）

国籍・地域	【費目別旅行消費額】 (億円)					
	総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス 費	買物代 その他
全国籍・地域	239	0	11	1	1	226
台湾	14	0	0	1	0	13
中国	209	0	9	0	1	198
その他	16	0	1	0	0	15

3. 土産品の購入実態

(1) 費目別購入率

- 費目別の購入率（その費目を購入した人の割合）は「菓子類」（69.5%）、「化粧品・香水」（42.3%）、「医薬品」（37.6%）の順で高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、韓国で「菓子類」（85.5%）、台湾で「医薬品」（56.8%）、香港で「衣類」（53.1%）、中国で「化粧品・香水」（77.4%）の購入率が他の国籍・地域に比べ高い。

(2) 費目別購入者単価

- 費目別の購入者単価（その費目を購入した人における当該費目の1人当たり平均支出）は、「宝石・貴金属」が6.9万円と最も高い（図表 3-1）。
- 国籍・地域別では、中国の「宝石・貴金属」（13.9万円）、「時計・フィルムカメラ」（9.9万円）、「化粧品・香水」（5.0万円）が他の国籍・地域に比べ高い。

図表 3-1 買物代の費目別購入率（主要国籍・地域別、全目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	69.5%	8,386	85.5%	5,839	72.8%	9,167	65.6%	9,107	68.9%	11,247	36.9%	7,679
酒類	23.0%	7,374	32.0%	5,561	21.6%	6,597	16.1%	7,081	15.4%	8,945	25.1%	10,037
生鮮農産物	8.4%	4,956	2.3%	5,816	21.2%	3,420	19.2%	4,312	7.3%	7,206	3.6%	6,438
その他食料品・飲料・たばこ	34.5%	9,112	35.3%	4,121	43.1%	8,571	34.6%	8,442	29.2%	15,334	27.1%	10,856
化粧品・香水	42.3%	27,627	34.5%	7,426	43.8%	14,319	45.0%	22,841	77.4%	49,733	7.2%	10,811
医薬品	37.6%	13,019	42.8%	4,649	56.8%	14,634	45.3%	8,284	50.7%	23,743	2.9%	3,822
健康グッズ・トイレタリー	16.9%	14,998	14.8%	5,710	31.4%	14,056	20.0%	8,194	22.6%	26,893	3.7%	8,945
衣類	34.1%	21,956	22.8%	15,955	42.7%	15,904	53.1%	24,293	35.5%	37,363	22.4%	18,201
靴・かばん・革製品	20.7%	24,100	11.2%	10,698	21.9%	16,428	32.6%	20,858	26.9%	43,354	8.0%	12,927
電気製品	10.4%	37,400	2.3%	67,013	23.7%	28,902	5.5%	11,176	18.7%	43,896	2.7%	14,335
時計・フィルムカメラ	4.1%	54,398	2.3%	20,694	2.4%	42,119	2.3%	11,876	7.3%	98,797	0.6%	30,026
宝石・貴金属	1.5%	68,783	1.1%	24,468	0.2%	56,169	0.5%	73,516	2.5%	138,705	3.3%	21,602
民芸品・伝統工芸品	8.2%	9,140	6.8%	4,116	10.3%	10,259	6.0%	13,970	5.8%	11,883	14.8%	10,461
本・雑誌・ガイドブックなど	4.5%	7,484	4.0%	8,302	3.6%	9,307	6.3%	3,676	3.6%	9,075	7.0%	7,252
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.5%	12,678	3.3%	10,217	4.2%	10,428	3.5%	17,187	4.1%	16,473	2.4%	9,116
その他買物代	7.3%	12,734	8.8%	7,554	5.2%	8,483	4.9%	16,001	4.8%	19,902	11.2%	13,550

図表 3-2 買物代の費目別購入者単価（主要国籍・地域別、観光・レジャー目的）

費目	全国籍・地域		韓国		台湾		香港		中国		米国	
	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)	購入率	購入者単価(円)
菓子類	72.8%	8,095	87.4%	5,554	74.5%	9,211	66.1%	9,131	68.9%	10,861	39.8%	7,723
酒類	24.0%	6,061	33.6%	3,838	22.6%	6,216	16.8%	7,046	14.4%	7,468	29.1%	9,437
生鮮農産物	9.4%	4,397	2.7%	5,816	21.6%	2,947	19.7%	4,151	8.1%	7,293	4.4%	5,459
その他食料品・飲料・たばこ	36.2%	8,495	37.5%	3,833	43.0%	9,040	34.8%	8,554	30.2%	14,137	30.5%	10,530
化粧品・香水	46.4%	26,814	36.4%	7,340	45.5%	14,320	45.1%	23,507	80.9%	48,673	8.8%	10,889
医薬品	42.2%	12,884	44.9%	4,589	58.3%	14,550	45.3%	8,483	53.2%	24,050	4.3%	3,893
健康グッズ・トイレタリー	18.7%	14,260	15.3%	5,186	32.9%	13,575	20.6%	8,062	23.5%	26,636	5.3%	4,892
衣類	36.4%	21,098	23.9%	13,716	44.7%	14,747	53.9%	23,633	37.8%	37,124	28.9%	18,524
靴・かばん・革製品	22.6%	23,590	12.0%	8,377	22.1%	15,367	33.1%	20,568	29.7%	43,160	11.1%	14,986
電気製品	11.3%	35,020	2.1%	74,774	25.0%	28,525	5.8%	11,117	19.7%	39,213	3.5%	10,777
時計・フィルムカメラ	4.3%	58,538	2.2%	19,832	2.5%	44,693	2.5%	11,876	8.2%	101,483	0.5%	46,282
宝石・貴金属	1.5%	71,571	1.1%	22,707	0.2%	56,169	0.5%	73,516	2.9%	124,475	4.5%	16,760
民芸品・伝統工芸品	8.6%	9,126	7.1%	3,912	10.6%	10,480	6.3%	14,071	6.6%	12,382	19.7%	9,799
本・雑誌・ガイドブックなど	4.2%	6,402	3.2%	5,288	2.9%	11,164	6.4%	3,383	4.0%	6,470	10.0%	9,363
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	3.7%	12,872	3.5%	10,518	3.6%	11,488	3.3%	19,135	4.4%	14,943	3.2%	8,723
その他買物代	7.4%	12,106	9.5%	7,782	5.3%	8,238	5.0%	16,420	4.7%	19,249	12.4%	15,794

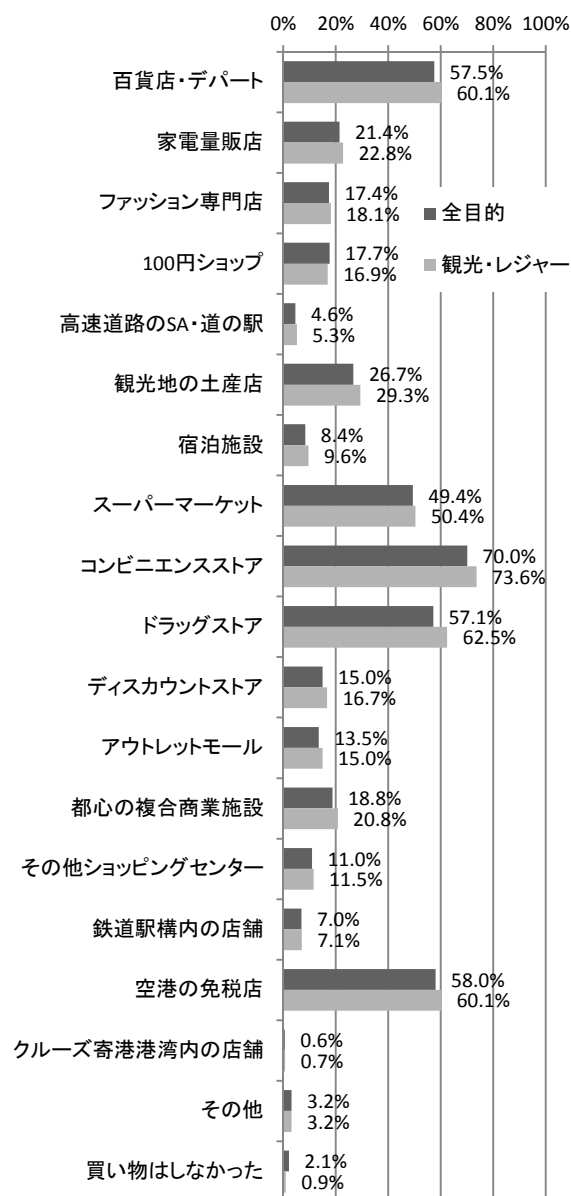
(3) 買物場所

- 買物場所は「コンビニエンスストア」(70.0%)、「空港の免税店」(58.0%)、「百貨店・デパート」(57.5%)、「ドラッグストア」(57.1%)、「スーパーマーケット」(49.4%)の順で高い(図表3-3)。

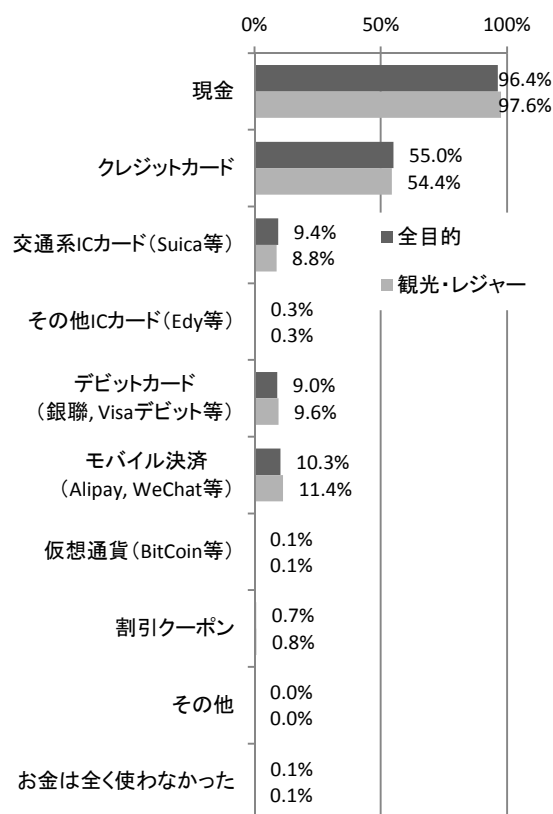
(4) 利用した決済方法

- 利用した決済方法は「現金」の利用率が9割を超える。「クレジットカード」は55.0%と約半数が利用している。「交通系ICカード」、「デビットカード」、「モバイル決済」はいずれも1割程度の利用率となっている(図表3-4)。

図表 3-3 買物場所
(全国籍・地域、複数回答)



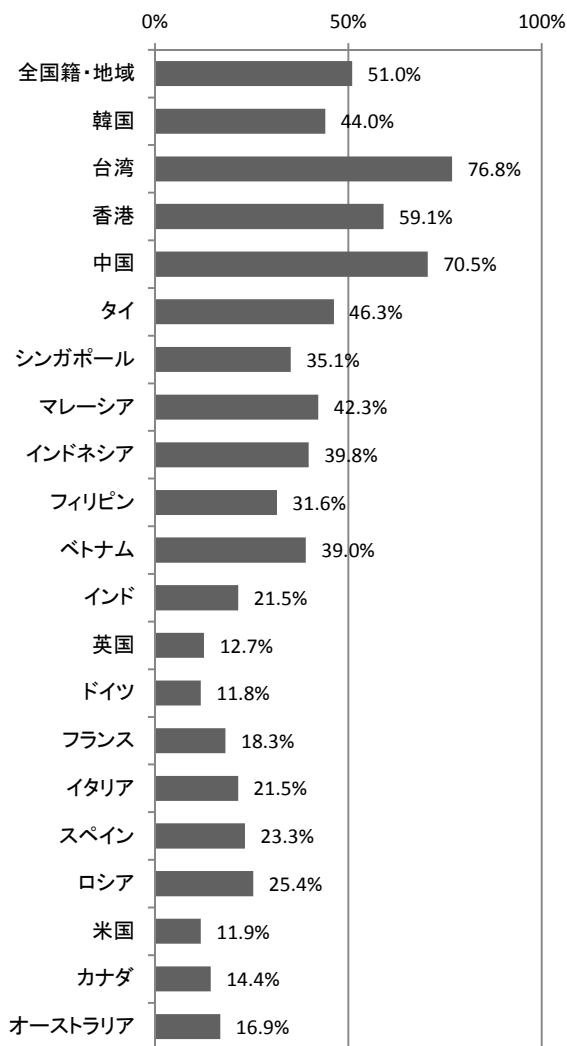
図表 3-4 利用した決済方法
(全国籍・地域、複数回答)



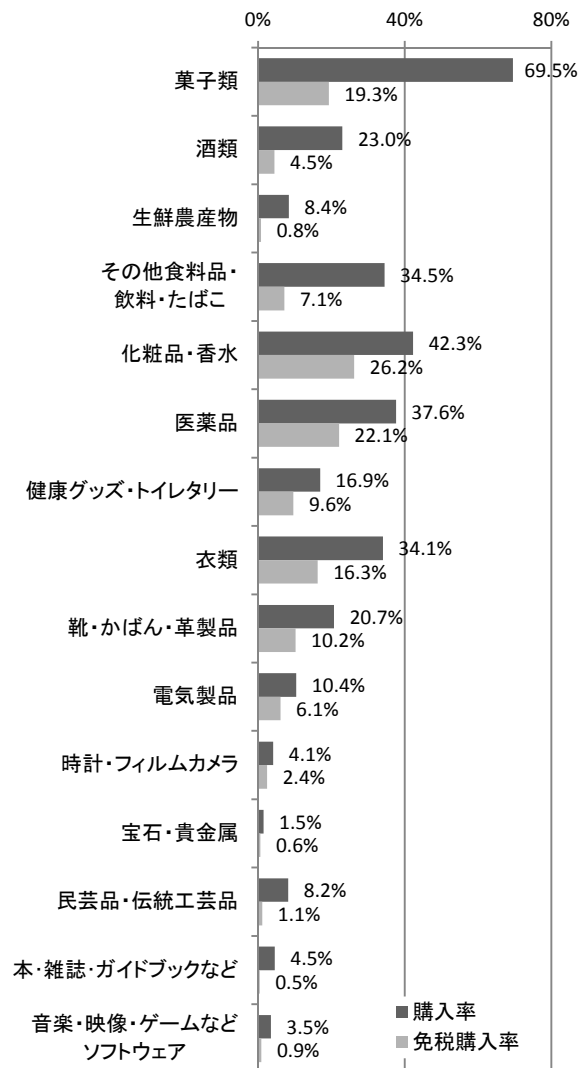
(5) 消費税免税手続きの実施状況

- 今回の日本滞在中に**消費税免税手続き**を実施した人の割合は全体の51.0%である(図表3-5)。
- 国籍・地域別にみると、台湾や中国で7割超と高い。一方、英国やドイツ、米国では1割程度と他の国籍・地域に比べて低い。
- 買物代の費目別に、消費税免税手続きをして当該費目を購入した人の割合(**費目別の免税購入率**、分母は一般客全体)をみると、「化粧品・香水」(26.2%)が最も高く、次いで「医薬品」(22.1%)、「菓子類」(19.3%)の順で高くなっている(図表3-6)。

図表 3-5 消費税免税手続きの実施率 (国籍・地域別)



図表 3-6 費目別購入率と費目別の免税購入率 (全国籍・地域、複数回答)



4. 満足度と再訪意向

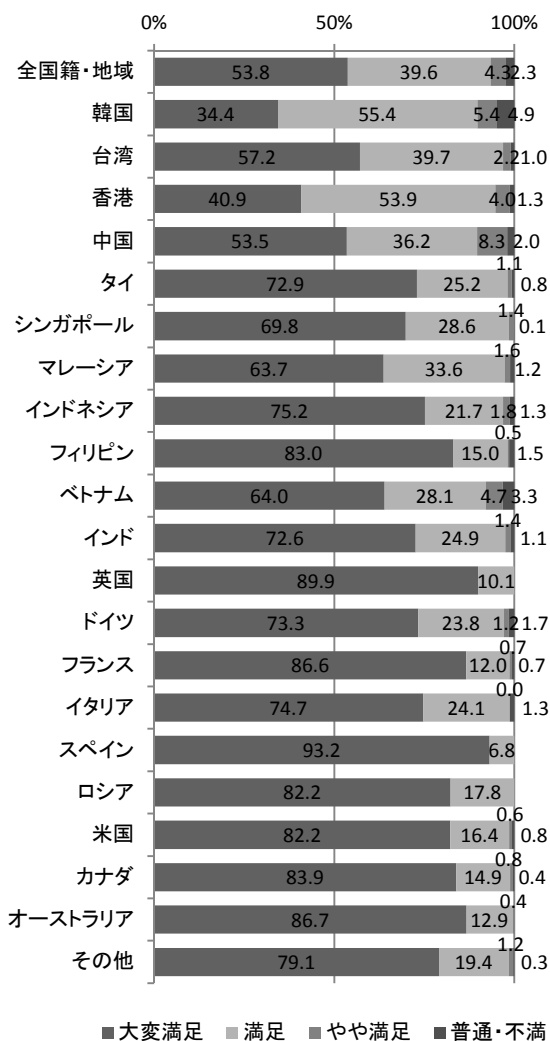
(1) 訪日旅行全体の満足度

- 今回の訪日旅行全体の満足度は「大変満足」53.8%、「満足」39.6%である（図表4-1）。
- 国籍・地域別では、フィリピンや英国、フランス、スペイン、ロシア、米国、カナダ、オーストラリアで「大変満足」の割合が8割以上と高い。

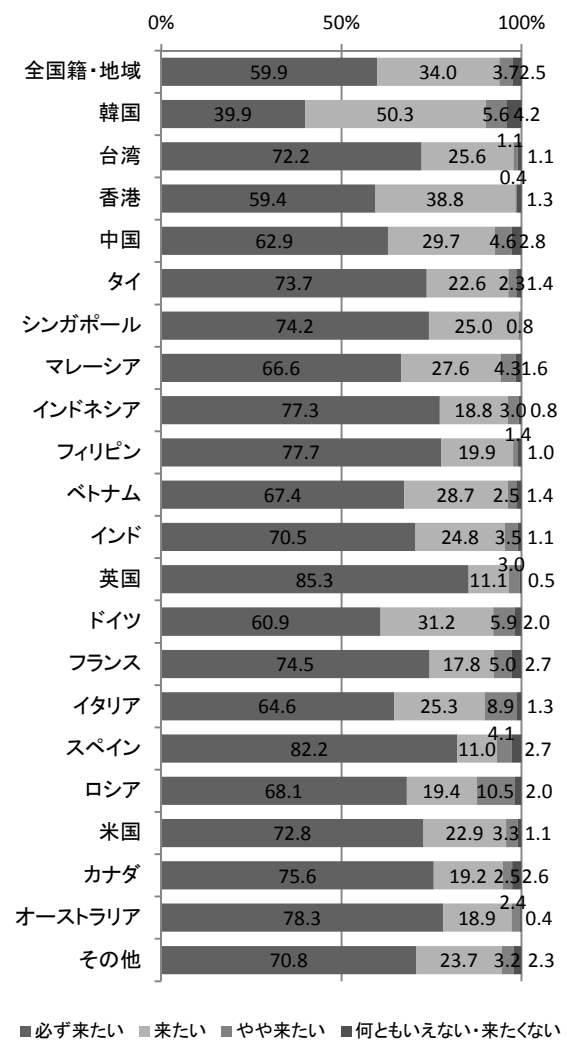
(2) 日本への再訪意向

- 日本への再訪意向では、「必ず来たい」が59.9%、「来たい」が34.0%である（図表4-2）。
- 国籍・地域別では、「必ず来たい」の割合は英国(85.3%)、スペイン(82.2%)、オーストラリア(78.3%)、フィリピン(77.7%)の順で高い。

図表 4-1 訪日旅行全体の満足度（国籍・地域別）



図表 4-2 日本への再訪意向（国籍・地域別）



(3) 最も満足した購入商品

- 最も満足した購入商品をみると、「菓子類」(20.9%)、「化粧品・香水」(13.6%)、「衣類」(11.8%)の順で高い(図表4-3)。
- 満足した理由をみると、「菓子類」では「美味しい」に加え「お土産に良い・頼まれた」とする回答が多くみられた。「化粧品・香水」「衣類」では「品質が良い」とする回答に加え「価格が手頃・自国より安い」とする回答が多かった。この他、「化粧品・香水」では「日本製」、「衣類」では「デザインが良い・かわいい」とする回答も多く見られた。

図表 4-3 最も満足した購入商品とその理由 (全国籍・地域)

商品区分	【最も満足した購入商品】 (単一回答)	【満足した理由】(複数回答)															
		美味しい	品質が良い	自国で入手が難しい	価格が手頃・自国より安い	日本製	伝統的・日本独特	好きなブランド・商品である	デザインが良い・かわいい	人気がある・有名	お土産に良い・頼まれた	便利だから	その他	不明			
菓子類	20.9	74.9	20.9	12.5	11.8	14.9	7.9	5.0	5.6	14.2	25.6	0.8	0.4	3.9			
酒類	3.2	62.0	28.4	20.7	16.7	35.3	20.8	11.8	5.1	7.0	11.1	0.5	0.9	2.8			
生鮮農産物	1.5	91.6	49.9	6.9	14.0	10.6	6.4	1.4	2.6	1.7	6.1	0.2	0.0	4.0			
その他食料品・飲料・たばこ	7.1	65.1	24.6	19.3	14.3	18.8	15.3	6.2	2.2	9.1	12.2	1.6	0.2	4.7			
化粧品・香水	13.6	0.0	60.3	8.4	33.9	33.0	1.6	18.7	2.9	11.1	7.5	0.7	0.8	6.1			
医薬品	7.7	0.0	62.5	14.7	16.6	34.8	2.1	3.7	1.4	12.6	13.5	1.9	0.6	6.6			
健康グッズ・トイレットリー	1.3	0.0	65.7	18.4	31.2	20.7	1.2	2.8	3.4	28.0	12.7	8.2	0.3	3.4			
衣類	11.8	0.0	50.0	9.4	34.5	19.2	7.0	14.2	42.0	4.9	4.1	0.7	0.9	2.3			
靴・かばん・革製品	7.0	0.0	51.4	11.8	35.4	18.2	2.9	19.5	39.5	7.0	3.6	2.3	0.7	3.3			
電気製品	5.2	0.0	54.8	8.2	39.3	38.0	2.3	12.8	7.4	7.6	3.8	2.3	0.9	3.8			
時計・フィルムカメラ	2.0	0.0	52.7	5.9	29.8	40.4	1.2	19.0	23.0	5.9	4.6	1.4	0.1	2.9			
宝石・貴金属	0.1	0.0	33.4	11.6	22.4	36.3	18.3	28.5	48.9	9.1	12.5	0.0	0.0	0.0			
民芸品・伝統工芸品	2.0	0.0	23.7	12.5	6.3	37.3	57.8	3.8	36.9	2.2	16.5	0.2	0.7	1.9			
本・雑誌・ガイドブックなど	0.9	0.0	12.5	26.8	10.5	30.0	19.6	5.8	20.5	12.3	6.3	4.3	4.6	1.5			
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.5	0.0	20.4	33.8	16.2	31.7	7.2	42.3	8.0	16.2	0.3	0.0	2.0	2.5			
その他買物代	14.6	0.0	36.1	16.7	21.3	23.4	12.2	18.5	36.7	9.4	10.2	2.3	0.6	3.8			
その他	0.7	0.0	31.0	12.1	27.4	14.6	14.5	8.5	9.1	9.9	12.0	23.6	10.9	5.4			
全体	100.0	23.5	41.2	13.0	23.3	24.2	8.3	12.0	17.1	10.0	11.9	1.6	0.7	4.1			

(4) 最も満足した飲食

- 最も満足した飲食をみると、「肉料理」(23.4%)、「ラーメン」(20.0%)、「寿司」(17.6%)の順で高い(図表4-4)。
- 満足した理由をみると、いずれの飲食区分でも「美味しい」が圧倒的に多いが、「寿司」では「食材が新鮮」とする回答も多かった。「肉料理」「ラーメン」は「食材が新鮮」に加えて「自国で味わうことができない」「伝統的・日本独特」とする回答も多く見られた。

図表 4-4 最も満足した飲食とその理由 (全国籍・地域)

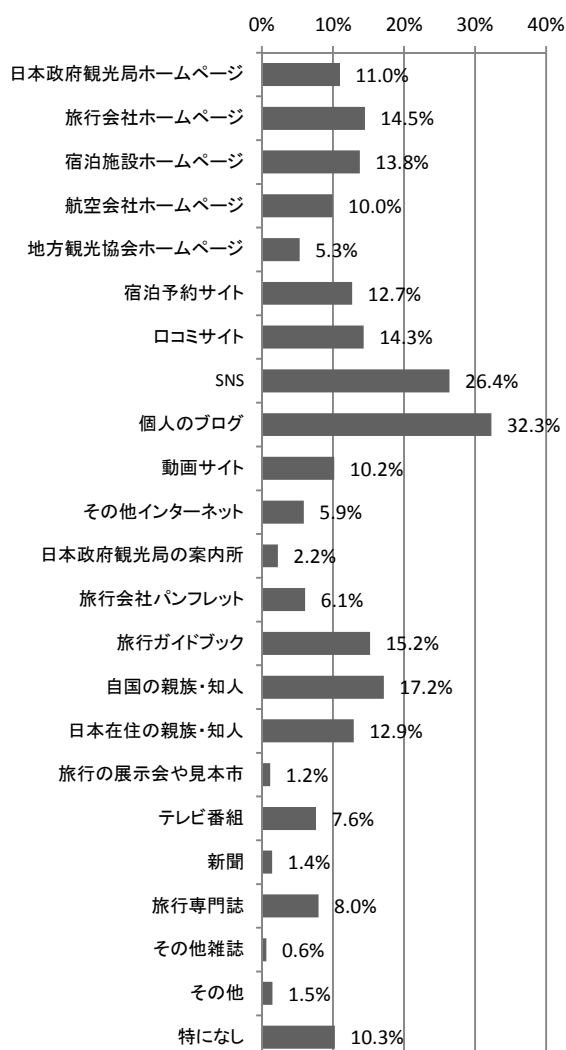
飲食区分	【最も満足した飲食】 (単一回答)	【満足した理由】(複数回答)															
		美味しい	食材が新鮮	自国で味わうことができない	価格が手頃・自国より安い	量や種類が適切	伝統的・日本独特	好きな料理・食品である	盛り付けの見た目が良い	人気がある・有名	健康に良い	店のサービスや雰囲気	その他	不明			
寿司	17.6	84.7	60.3	8.6	13.5	5.4	20.8	13.5	3.6	5.8	5.1	4.4	0.4	4.7			
ラーメン	20.0	86.7	19.6	14.1	11.2	5.8	18.2	11.7	2.5	11.5	3.4	4.9	0.4	6.7			
そば・うどん	4.6	90.5	16.3	15.5	11.3	6.7	26.2	9.3	3.5	5.1	6.6	4.1	0.6	3.3			
肉料理	23.4	90.1	33.1	16.4	11.1	6.6	14.4	12.9	3.2	10.1	2.4	6.1	0.4	4.4			
魚料理	11.8	83.1	67.4	12.6	9.9	2.8	15.8	10.6	4.0	5.7	5.3	3.8	0.1	4.9			
小麦粉料理	2.7	91.1	22.4	23.9	10.1	4.5	35.1	10.6	1.2	12.2	2.6	5.2	1.7	3.4			
その他日本料理	6.9	83.9	29.2	17.4	6.5	5.5	33.4	7.5	9.4	3.0	8.5	4.8	1.3	4.0			
外国の料理	0.6	81.6	15.3	5.8	4.7	7.1	4.4	22.9	2.5	4.7	3.2	6.3	11.0	0.0			
その他料理	4.8	86.4	25.1	15.3	14.6	11.3	16.9	12.6	5.3	8.4	3.7	7.1	1.2	3.9			
菓子類	3.3	83.9	15.2	15.1	9.8	2.8	13.9	8.3	5.4	8.0	1.3	1.8	1.7	7.8			
果物	0.8	88.5	54.3	8.1	15.6	3.5	3.9	10.3	2.1	3.3	8.4	0.8	0.0	4.1			
酒	1.7	88.3	21.4	17.5	11.1	2.3	27.5	9.6	2.7	10.8	4.9	4.9	1.4	3.1			
その他食料品・飲料	1.8	81.6	22.2	16.4	8.4	4.0	20.5	10.4	2.9	6.9	15.0	3.7	1.3	3.1			
全体	100.0	86.6	36.6	14.2	11.1	5.6	19.2	11.7	3.8	8.2	4.4	4.9	0.6	4.9			

5. 役に立った旅行情報

(1) 出発前に得た旅行情報源

- 出発前に得た旅行情報源で役に立ったものは、「個人のブログ」(32.3%)、「SNS」(26.4%)、「自国の親族・知人」(17.2%)の順で多い(図表5-1)。
- 「日本政府観光局ホームページ」は11.0%、「日本政府観光局の案内所」の選択率は2.2%であった。

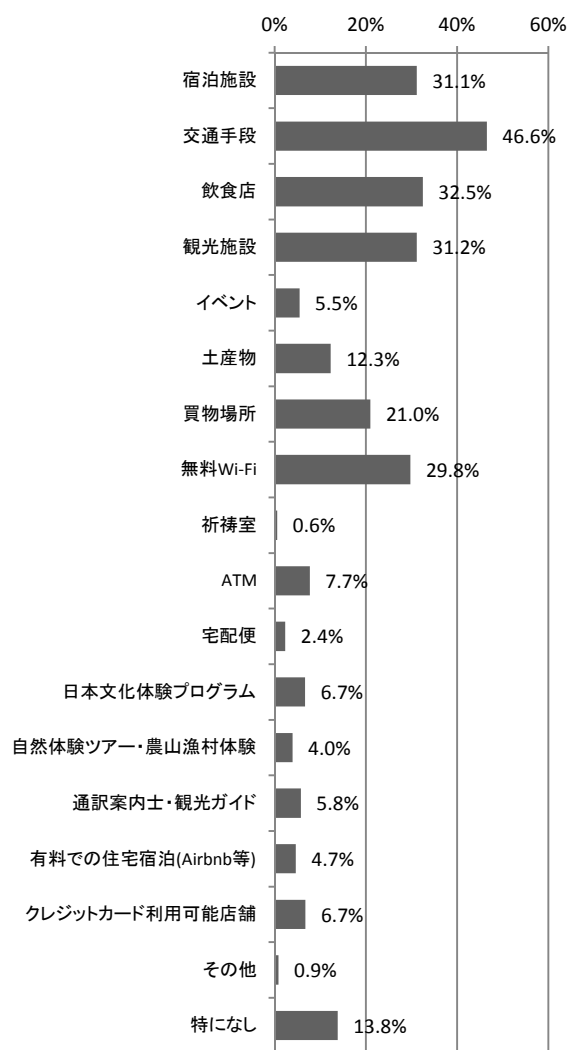
図表 5-1 出発前に得た旅行情報源で役に立ったもの
(全国籍・地域、複数回答)



(2) 日本滞在中に得た旅行情報

- 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったものでは、「交通手段」が46.6%と最も多い。次いで「飲食店」(32.5%)、「観光施設」(31.2%)、「宿泊施設」(31.1%)、「無料Wi-Fi」(29.8%)の順で多い(図表5-2)。

図表 5-2 日本滞在中に得た旅行情報で役に立ったもの
(全国籍・地域、複数回答)



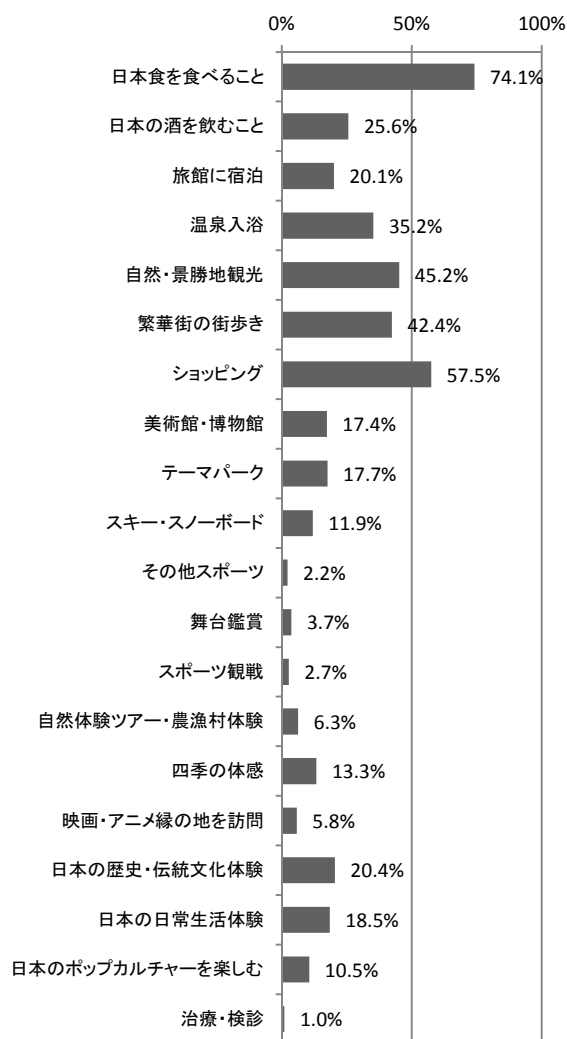
6. 日本滞在中の行動

(1) 訪日前に期待していたこと

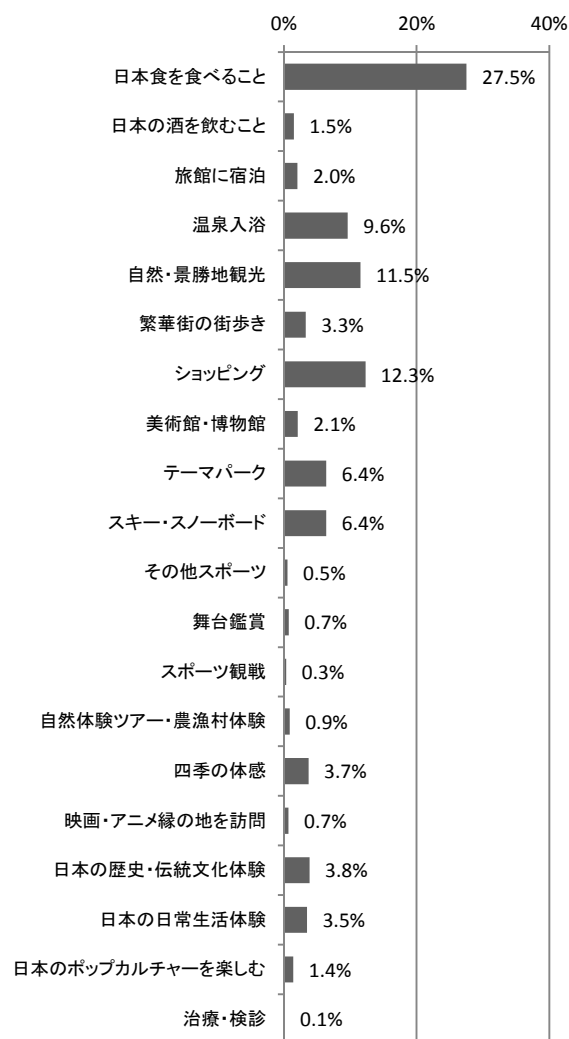
- 訪日前に期待していたことを複数回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」が74.1%と最も多かった。次いで「ショッピング」(57.5%)、「自然・景勝地観光」(45.2%)、「繁華街の街歩き」(42.4%)の順が多い(図表6-1)。

- 訪日前に最も期待していたことを単一回答で尋ねたところ、「日本食を食べること」(27.5%)、「ショッピング」(12.3%)、「自然・景勝地観光」(11.5%)、「温泉入浴」(9.6%)、「テーマパーク」「スキー・スノーボード」(ともに6.4%)の順となった(図表6-2)。

図表 6-1 訪日前に期待していたこと
(全国籍・地域、複数回答)



図表 6-2 訪日前に最も期待していたこと
(全国籍・地域、単一回答)



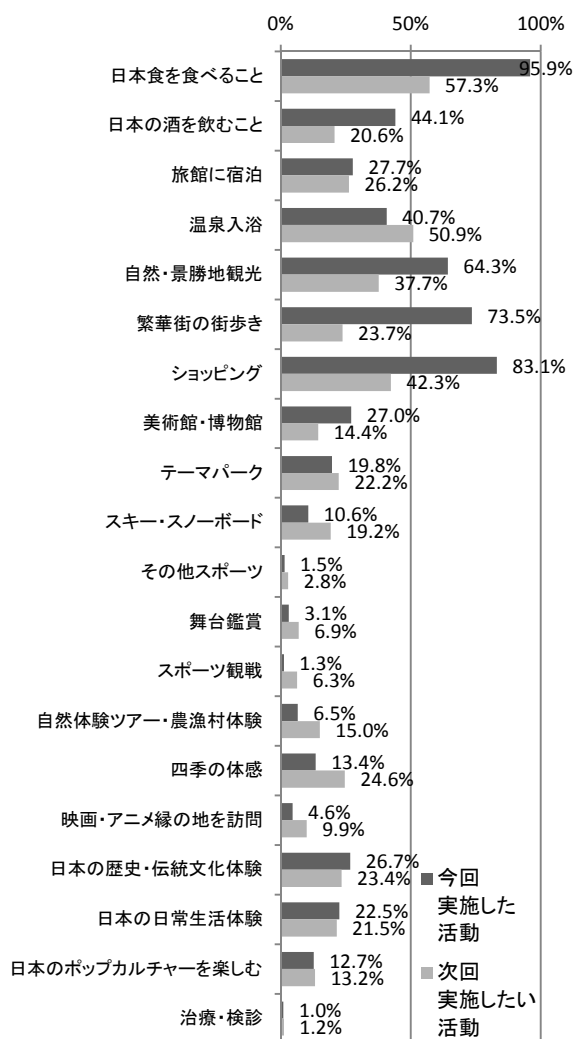
(2) 今回したことと次回したいこと

- 今回の日本滞在中にしたことでは、「日本食を食べること」「ショッピング」「繁華街の街歩き」「自然・景勝地観光」の順で選択率が高い(図表6-3)。
- 次回日本を訪れた時にしたいことでは、「日本食を食べること」「温泉入浴」「ショッピング」「自然・景勝地観光」の順で選択率が高い。

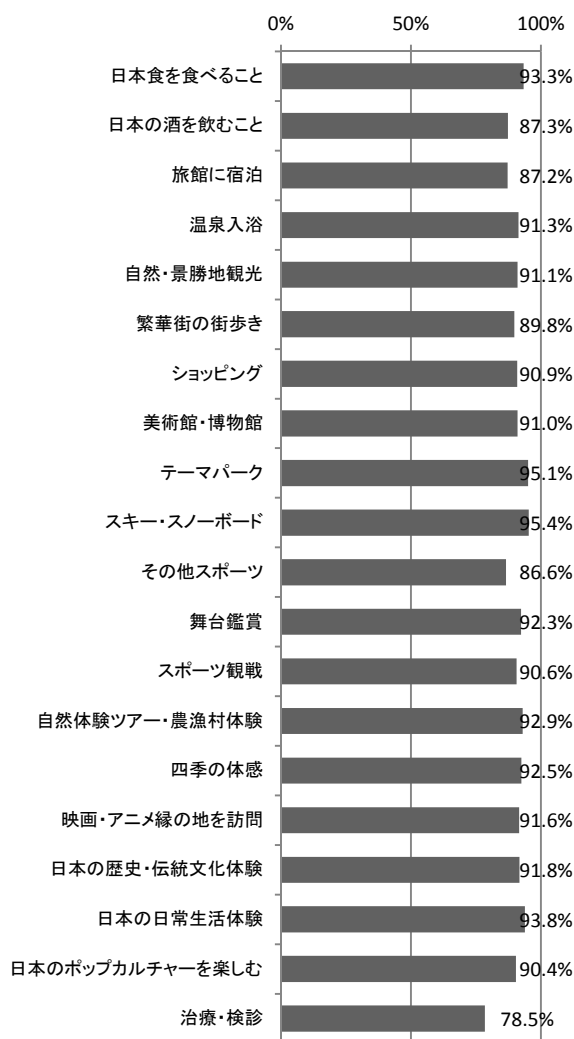
(3) 今回したことの満足度

- 今回の日本滞在中にしたことの満足度を尋ねた結果、「満足した」と回答した人の割合は「スキー・スノーボード」(95.4%)、「テーマパーク」(95.1%)、「日本の日常生活体験」(93.8%)、「日本食を食べること」(93.3%)、「自然体験ツアー・農漁村体験」(92.9%)の順で多かった(図表6-4)。

図表 6-3 今回したことと次回したいこと
(全国籍・地域、複数回答)



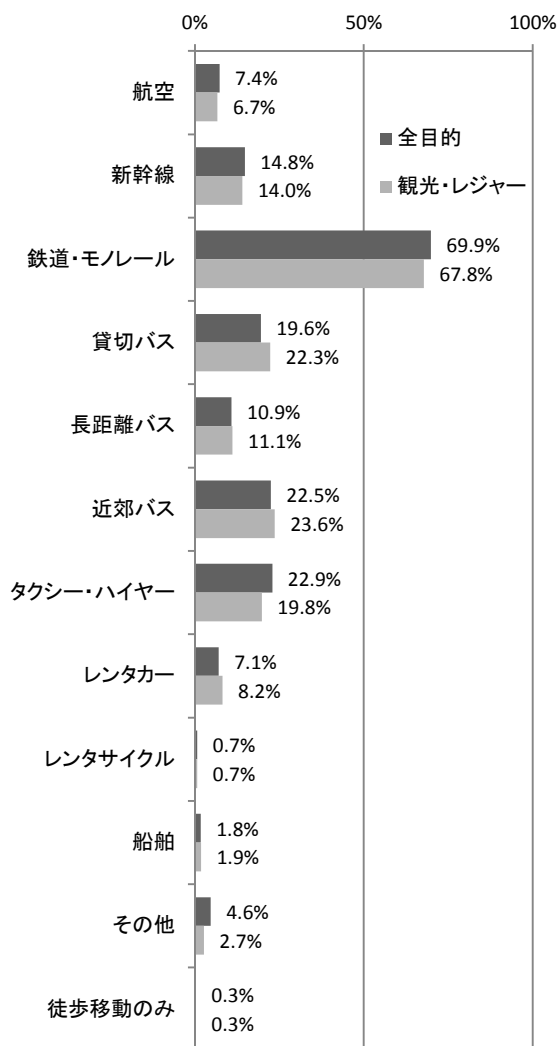
図表 6-4 今回した人のうち満足した人の割合
(全国籍・地域、複数回答)



(4) 利用した交通手段

- 利用した交通手段は「鉄道・モノレール」(69.9%)が圧倒的に多く、次いで「タクシー・ハイヤー」(22.9%)、「近郊バス」(22.5%)、「貸切バス」(19.6%)、「新幹線」(14.8%)の順で高い(図表6-5)。

図表 6-5 利用した交通手段
(全国籍・地域、複数回答)



II 訪日外国人消費動向調査について

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

訪日外国人旅行者の消費動向を明らかにし、外国人観光客誘致に関する施策の企画立案、評価等のための基礎資料を得ることを目的とする。

本調査では、目的に応じて以下に示す3つの調査を四半期毎に実施している。

A 全国調査

日本全体での訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 1 地域調査

訪問地(都道府県)毎に、訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

B 2 クルーズ調査

船舶観光上陸許可を得た訪日外国人の客層や旅行内容、消費実態を明らかにする。

(2) 調査の沿革

2010年(平成22年)

4-6月期より調査開始。

2014年(平成26年)

高松空港を調査地点に追加。

インドネシア、フィリピン、ベトナムを調査対象に追加。

調査票の変更(ラウンジ利用や消費税免税手続きに係る設問の追加等)。

2015年(平成27年)

函館空港、小松空港、富士山静岡空港、関門(下関)港、厳原港、鹿児島空港を調査地点に追加。

イタリア、スペインを調査対象に追加。調査票の変更(申込方法や訪問地毎の支出金額、世帯年収に係る設問の追加等)。

2018年(平成30年)

従来調査(A全国調査)に加え、B1地域調査、B2クルーズ調査を新たに開始。青森空港、茨城空港、富山空港、岡山空港、米子空港、佐賀空港、宮崎空港、境港、長崎港、那覇港を調査地点に追加。調査票の変更(訪日頻度に係る設問の追加、支出金額の費目細分化等)。

(3) 調査の根拠法令

本調査は、統計法(平成19年法律第53号)第2条に規定する一般統計として実施した。なお、一般統計の実施と併せ、訪日旅行全体の満足度や再訪意向等の意識調査を同時に行った。

(4) 調査の対象

A 全国調査

日本国内の17空海港(※1)から出国する訪日外国人。

(※1) 新千歳空港、函館空港、仙台空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、小松空港、関西国際空港、広島空港、高松空港、福岡空港、鹿児島空港、那覇空港、関門港(下関)、博多港、厳原港

B 1 地域調査

日本国内の25空海港(※2)から出国する訪日外国人。

(※2) 新千歳空港、函館空港、青森空港、仙台空港、茨城空港、東京国際空港、成田国際空港、富士山静岡空港、中部国際空港、富山空港、小松空港、関西国際空港、米子空港、岡山空港、広島空港、高松空港、福岡空港、佐賀空港、宮崎空港、鹿児島空港、那覇空港、境港、関門港(下関)、博多港、厳原港

B 2 クルーズ調査

博多港、長崎港又は那覇港に寄港するクルーズ船のうち、同港が日本国内の最終寄港地であるクルーズ船に乗船する訪日外国人であって、出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得て同港に上陸した者。

ただし、A全国調査、B 1 地域調査及びB 2クルーズ調査いずれも以下の者を除く。

- 1) 日本に入学していないトランジット客
- 2) 乗員
- 3) 1年以上の滞在者
- 4) 出入国管理及び難民認定法に基づく永住者、永住者の配偶者等及び定住者

(5) 抽出方法

本調査は標本調査であるが、空海港の国際線ターミナル搭乗待合ロビーにおいて日本から出国する訪日外国人を対象とした聞き取り調査の手法を採用しており、有意抽出法に該当する。したがって、厳密には調査から得られた結果の性質を理論的に評価することはできない。しかし、調査結果を可能な限り母集団の持つ性質に近づけるため、無作為抽出法で一般に用いられる標本設計の手法を適用して標本サイズを決定している。

A 全国調査

A全国調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である17空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の国籍・地域により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 1 地域調査

B 1 地域調査の標本設計においては、法務省「出入国管理統計」の外国人単純出国者数（前年同期）のうち、調査地点である25空海港からの出国者数を母集団とする。訪日外国人の出国港により層化を行い、各層において独立に標本抽出を行う。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地と見込まれるクルーズ船を各調査港における調査対象の候補とする。調査対象候補となるクルーズ船を、次の寄港地（外国）の国・地域毎に層化した上で、予定寄港回数に基づく比例配分法によって調査対象便を抽出する。便毎の調査対象者数は均等割当とし、客層等の偏りを防ぐため1便当たりの回収数上限を50票と設定する。

(6) 目標精度と標本サイズ

A 全国調査

国籍・地域毎の「1人当たり旅行総支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表1のように定めた。

表1 A全国調査の目標精度

国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	国籍・地域 (21区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
韓国	3.0%	780	英国	7.0%	190
台湾	3.0%	610	ドイツ	7.0%	290
香港	3.0%	650	フランス	7.0%	140
中国	3.0%	1,000	イタリア	10.0%	80
タイ	5.0%	300	スペイン	10.0%	70
シンガポール	7.0%	140	ロシア	10.0%	110
マレーシア	7.0%	360	米国	3.0%	1,250
インドネシア	7.0%	220	カナダ	7.0%	220
フィリピン	7.0%	250	オーストラリア	5.0%	240
ベトナム	7.0%	350	その他	5.0%	320
インド	10.0%	260	合計		7,830

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ（目標回収数）を、2016年（平成28年）調査結果を用いて導出した。その結果、A全国調査の標本サイズは各四半期7,830票となった。なお、調査港（出国港）毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B 1 地域調査

訪問地（都道府県）毎の「1人1泊当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度（推定値の標準誤差率）を表2のように定めた。

表2 B1地域調査の目標精度

都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数	都道府県 (47区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
北海道	5.0%	250	三重県	15.0%	60
青森県	15.0%	50	滋賀県	10.0%	120
岩手県	15.0%	60	京都府	5.0%	420
宮城県	15.0%	60	大阪府	5.0%	360
秋田県	15.0%	50	兵庫県	10.0%	190
山形県	15.0%	50	奈良県	15.0%	170
福島県	15.0%	60	和歌山県	10.0%	90
茨城県	15.0%	80	鳥取県	15.0%	50
栃木県	15.0%	60	島根県	15.0%	60
群馬県	15.0%	50	岡山県	15.0%	60
埼玉県	15.0%	90	広島県	10.0%	80
千葉県	10.0%	1,270	山口県	15.0%	50
東京都	5.0%	570	徳島県	15.0%	60
神奈川県	10.0%	190	香川県	15.0%	60
新潟県	15.0%	80	愛媛県	15.0%	70
富山県	15.0%	50	高知県	15.0%	70
石川県	10.0%	80	福岡県	10.0%	50
福井県	15.0%	50	佐賀県	15.0%	120
山梨県	10.0%	170	長崎県	10.0%	120
長野県	10.0%	120	熊本県	10.0%	140
岐阜県	10.0%	70	大分県	10.0%	70
静岡県	10.0%	150	宮崎県	15.0%	50
愛知県	10.0%	110	鹿児島県	10.0%	60
			沖縄県	5.0%	230

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ(目標回収数)を、2016年(平成28年)予備調査の結果を用いて導出した。各都道府県訪問者の出現率は出国港によって異なるため、標本サイズに出現率の逆数を乗じて調査港(出国港)毎の必要回収数を算出し、B1地域調査の標本サイズは各四半期26,174票となった。なお、訪日外国人の国籍・地域毎の標本配分は、前年同期の外国人単純出国者数に比例して割り当てた。

B2クルーズ調査

調査港(国内最終寄港地)毎の「1人当たり旅行中支出」の平均値を推定値とし、目標精度(推定値の標準誤差率)を表3のように定めた。

表3 B2クルーズ調査の目標精度

最終寄港地 (3区分)	目標 標準誤差率	目標 回収数
博多港	5.0%	270
長崎港	5.0%	290
那覇港	5.0%	400
合計		960

この目標精度を達成するために必要となる標本サイズ(目標回収数)を、2016年(平成28年)に実施した予備調査の結果を用いて導出した。その結果、B2クルーズ調査の標本サイズは各四半期960票となった。

(7) 調査事項

A 全国調査

入国日、入国した空海港、在留資格、国籍・地域、居住地、性別、年齢、同行者、日本への来訪回数、前回の来訪時期、過去1年間の来訪回数、主な来訪目的、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、申込方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空(船舶)料金、旅行手配方法、ツアー料金に含まれるサービス、日本滞在中の費目別支出、消費税免税手続き実施状況、世帯年収、その他意識調査

B1地域調査及びB2クルーズ調査

国籍・地域、入国日、主な来訪目的、旅行手配方法、ツアー料金又は個別手配者の往復航空(船舶)料金、入国港、訪問地名、宿泊施設の種類及び泊数、費目別支出、利用した交通手段、買物場所、利用した決済方法、性別、年齢、在留資格、その他意識調査

(8) 調査の時期

2018年1月11日(木)～3月23日(金)

(9) 調査の方法

調査対象空海港の出国ロビーにいる訪日外国人に調査員が協力を求め、タブレット端末又は紙調査票を示しつつ、聞き取る方式(他計方式)により行う。

調査票対応言語

英語、韓国語、中国語(繁体字、簡体字)、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、インドネシア語、ベトナム語 以上12言語

2. 用語の解説

(1) 主要項目

一般客

クルーズ客（後述）を除く訪日外国人。

クルーズ客

出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）第14条の2に基づく船舶観光上陸の許可を得た訪日外国人。

注）訪日旅行の往復に航空機等を利用し、日本国内発着のクルーズ船を利用した訪日外国人は一般客に含まれる。

団体ツアー

旅行会社等が企画したツアーで、大半の旅程を団体で行動するもの。

個人旅行向けパッケージ商品

個人旅行者向けに、往復航空（船舶）券と宿泊等がセットになった旅行商品。

個別手配

団体ツアーや個人旅行向けパッケージ商品を利用せず、往復航空（船舶）券や宿泊等を個別に手配すること。

購入率

ある商品やサービスを購入した人の割合。

購入者単価

ある商品（又はサービス）を購入した人を分母として算出される、その商品（又はサービス）を購入する際に支払った支出金額の平均値。当該商品（又はサービス）を購入していない人も含めて算出される支出金額の平均値（費目別旅行消費単価）とは区別して使用される。

旅行前支出

団体ツアー参加者及び個人旅行向けパッケージ商品の利用者についてはパッケージツ

アー参加費が旅行前支出となる。一方、個別手配者については航空・船舶会社に支払われる国際旅客運賃が旅行前支出となる。

旅行中支出

宿泊費や飲食費、交通費、娯楽等サービス費、買物代等、訪日外国人が日本滞在中に支払った支出金額。宿泊費や交通費などで旅行前に決済された場合でも旅行中支出に含まれるが、パッケージツアー参加費に含まれる支出金額は含まれない。

旅行総支出

旅行前支出と旅行中支出の合計。

パッケージ内訳

パッケージツアー参加費に含まれる宿泊費や飲食費、交通費等の国内収入分。回答者から直接報告を得ることができないため、観光・レジャー目的の個別手配者の旅行支出における費目別構成比を用いて推計する。

旅行支出

旅行中支出にパッケージ内訳を加算した金額。

旅行消費単価

1人当たり支出の総称であり、旅行中支出又は旅行支出の意。集計表の表題に使用している。

訪日外国人旅行消費額

旅行消費単価に旅行者数を乗じることにより推計される総額。

地方運輸局等

以下に示す10の地域区分。それぞれの地域区分に含まれる都道府県は以下の通り。

【1.北海道】北海道

【2.東北】青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

【3.関東】茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県

【4.北陸信越】新潟県、富山県、石川県、長野県

【5. 中部】福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

【6. 近畿】滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県

【7. 中国】鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

【8. 四国】徳島県、香川県、愛媛県、高知県

【9. 九州】福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

【10. 沖縄】沖縄県

(2) 支出費目

a. 宿泊費

ホテル、旅館、国民宿舎、モーテル、簡易宿泊所、山小屋、下宿屋、保養所、ユースホテル、ゲストハウス、会員制の宿泊施設（タイムシェア、パッケージレンタルを含む）、有料での住宅宿泊、合宿所、長期滞在者の家賃

注) パッケージツアー料金に含まれる宿泊費は含まれない。出発前にインターネット等で決済したものを含む。日本国外での宿泊費は含まれない。

b. 飲食費

食堂、レストラン、専門料理店、そば・うどん店、すし店、酒場、ビヤホール、バー、キャバレー、ナイトクラブ、喫茶店、ハンバーガー店、飲食系の移動販売、配達飲食サービス

注) パッケージツアー料金又は宿泊費に含まれる飲食費は含まれない。弁当等を購入して持ち帰った場合には e4. その他食料品・飲料・酒・たばこに分類。

c. 交通費

c1. 航空

飛行機（日本国内の移動のみ）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の航空運賃は含まれない。

c2. Japan Rail Pass

JR グループ各社が外国人旅行者向けに提供している特別企画乗車券

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。「Japan Rail Pass」に加え、外国人旅行者向け JR 特別企画乗車券を含む。

c3. 新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール

JR、鉄道、路面電車、地下鉄、モノレール、案内軌条式鉄道（ゆりかもめ等）、鋼索鉄道

（ケーブルカー）、索道（ロープウェイ等、ただしスキー場におけるものを除く）、交通系電子マネーのカード購入費、フリー乗車券（c2. Japan Rail Pass に該当するものを除く）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スキー場におけるリフト・ロープウェイ等の利用料金は d7. スキー場リフトに分類。

c4. バス

乗合バス（路線バス、長距離バス等）、貸切バス（団体観光バス等）

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c5. タクシー

ハイヤー、タクシー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

c6. レンタカー

レンタカー、レンタルバイク

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。ガソリン代や有料道路料金、有料駐車場料金は c8. その他交通費に分類。

c7. 船舶

船舶（日本国内の移動のみ）、遊覧船

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。外国と日本との間の船舶運賃は含まれない。貸ボートは d11. レンタル料、遊漁船は d12. その他娯楽等サービス費に分類。

c8. その他交通費

高速道路・有料道路・橋・トンネル等の通行料、駐車場料金、ガソリン代

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d. 娯楽等サービス費

d1. 現地ツアー・観光ガイド

日本国内での現地ツアー、観光案内(ガイド)

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d2. ゴルフ場

次の施設利用料：ゴルフ場、ゴルフ練習場、ボウリング場、テニス場、フィットネスクラブ、プール、アイススケート場

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ観戦料は d5. スポーツ観戦に分類。

d3. テーマパーク

次の入場料：テーマパーク、遊園地、公園

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d4. 舞台・音楽鑑賞

次のチケット料金：音楽コンサート、演劇、歌舞伎、寄席、サーカス

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d5. スポーツ観戦

次のチケット料金：相撲・サッカー・野球・ボクシング・プロレス・ゴルフの観戦

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。スポーツ施設利用料は d2. ゴルフ場に分類。

d6. 美術館・博物館・動植物園・水族館

次の入場料：美術館、博物館、動物園、植物園、水族館、公民館、図書館、城、プラネタリウム

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d7. スキー場リフト

スキー場における索道(リフト・ロープウェイ等)の利用料金

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d8. 温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション

スーパー銭湯、温泉浴場、砂湯、スパ、健康ランド、ネイルサロン、エステティックサロン、ボディケア、ハンドケア、フットケア、アロマオイルトリートメント、タラソテラピー

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d9. マッサージ・医療費

あん摩マッサージ、指圧マッサージ、はり、きゅう、病院・医院・診療所での診療、整体等の医業類似行為

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。処方薬の購入は e6. 医薬品に分類。

d10. 展示会・コンベンション参加費

次の参加費：展示会、コンベンション、見本市、博覧会、品評会、学会、その他会議

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d11. レンタル料

次のレンタル料：スキーウェア、スキー板、スノーボード板、スケート靴、スポーツ用品、自転車(レンタサイクル)、テント、ボート、ヨット、衣装、ビデオ、本、医療・福祉用具等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

d12. その他娯楽等サービス費

公営競技（競馬・競輪等）の入場料・投票券（馬券・車券等）、映画館、ビリヤード場、囲碁・将棋所、マージャンクラブ、パチンコホール、ゲームセンター、ダンスホール、マリナー、遊漁船、芸妓（げいぎ）、カラオケボックス、釣堀、銀行やATMの手数料、両替手数料、保険料、学校、専門学校等の授業料、託児サービス・介護サービスの利用料、コインシャワー、コインランドリー、クリーニング、理容店、美容院、ラウンジ利用料、手荷物預かり所、写真現像等

注) パッケージツアー料金に含まれる同費用は含まれない。

e. 買物代

e1. 菓子類

キャラメル、ドロップ、キャンデー、チョコレート、チューインガム、焼菓子、ビスケット、米菓、和生菓子、洋生菓子、スナック菓子、その他菓子類

e2. 酒類

酒全般：清酒、みりん、ビール、発泡酒、ウイスキー類、果実酒類、合成清酒、焼酎、スピリッツ、リキュール

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e3. 生鮮農産物

野菜（きのこを含む）、果物、花、種苗等

注) 卵・肉等の畜産物、魚等の水産物、加工食品は**e4. その他食料品・飲料・たばこ**に分類。

e4. その他食料品・飲料・たばこ

・e1. 菓子類～e3. 生鮮農産物を除く食料品全般：卵、肉類、魚介類、缶詰・瓶詰、乳製品、冷凍食品、食用油、精米、乾めん、即席めん、マカロニ・スパゲッティ、生めん、パ

ン、ジャム、はちみつ、調味料・香辛料、みそ、レトルト食品、即席ラーメン、総菜、弁当、豆腐、納豆、健康食品

・酒類を除く飲料全般：緑茶（茶葉）、紅茶（茶葉）、ウーロン茶（茶葉）、コーヒー（豆又は挽いたもの）、炭酸飲料、果実飲料、緑茶飲料、紅茶飲料、ウーロン茶飲料、コーヒー飲料、麦茶飲料、豆乳、ミネラルウォーター、スポーツドリンク、栄養ドリンク

・たばこ全般：紙巻たばこ、葉巻たばこ等

注) 飲食店等で消費した場合は**b. 飲食費**に分類。宿泊費に含まれている飲食費は**a. 宿泊費**に計上。

e5. 化粧品・香水

香水、オーデコロン、頭髮用化粧品（シャンプー、ヘヤーリンス、養毛剤、整髪料等）、皮膚用化粧品（クリーム、乳液、化粧水、パック等）、仕上用化粧品（ファンデーション、口紅、アイメイクアップ等）、日やけ止め、ひげそり用化粧品、歯磨剤

注) 歯ブラシ、化粧用ブラシは**e16. その他買物代**に分類。

e6. 医薬品

医薬品（風邪薬、胃腸薬、湿布薬、目薬等）、調剤薬局での処方薬、腋臭防止剤、洗眼薬、虫除け、外用消毒剤、軟膏剤、ビタミン剤等サプリメント、その他医薬部外品

e7. 健康グッズ・トイレタリー

マッサージ用具（電気製品でないもの）、美顔用具（電気製品でないもの）、エクササイズ用具（電気製品でないもの）、アイマスク、爪切り、磁気ネックレス、石けん・合成洗剤、界面活性剤、柔軟仕上げ剤、医療用ガーゼ、包帯、脱脂綿、ばんそうこう、綿棒、紙タオル、紙ナプキン、紙おむつ、生理用品、ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の紙製衛生用品

e8. 衣類

衣服、スポーツ用衣服、下着・寝着類、コート、レインコート、帽子、毛皮製衣服、ネクタイ、スカーフ、マフラー、ハンカチーフ、靴下、手袋、帽子、和服（着物、浴衣）、帯、足袋類等の和装製品

e9. 靴・かばん・革製品

靴・履物、スポーツ用靴（登山靴、スケート靴、ゴルフ靴等）、スリッパ、サンダル、かばん、ハンドバッグ、リュック、ランドセル、スーツケース、名刺入れ、財布、ベルト、腕時計用革バンド

e10. 電気製品

デジタルカメラ、ビデオカメラ、デスクトップパソコン、ノートパソコン、ディスプレイ・モニター、外部記憶装置、プリンタ、炊飯器、ジャーポット、電子レンジ、電気冷蔵庫、食器洗い乾燥機、電磁調理器、エアコン、扇風機、電気温水器、除湿器、加湿器、空気清浄機、電気アイロン、掃除機、洗濯機、洗濯物乾燥機、電気温水洗浄便座、電気ドライヤー、電気シェーバー、電気ストーブ、電気カーペット、電気マッサージ器具、ランプ、携帯電灯、懐中電灯、乾電池、蓄電池、ステレオセット、デジタルオーディオディスクプレイヤー、補聴器、スピーカ、マイクロホン、イヤホン、テレビ、ラジオ、電話機、ファクシミリ、携帯電話機、カーナビゲーションシステム、電気製品の部品

e11. 時計・フィルムカメラ

腕時計、置時計、ストップウォッチ、タイマー時計、時計の部品、フィルムカメラ、インスタントカメラ、カメラレンズ、カメラ付属品（ストロボ、三脚等）、望遠鏡、双眼鏡

e12. 宝石・貴金属

宝石（天然宝石、真珠等）や貴金属（金、銀、プラチナ等）が主体である以下の製品：アク

セサリー（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）、メダル、貴金属製たばこケース、貴金属製ナイフ・フォーク・スプーン・皿等の洋食器類、その他の身辺細貨品

e13. 民芸品・伝統工芸品

日本の地域独自の手工芸品に該当する以下の製品：織物、染色品、陶磁器、漆器、ガラス容器、木工品、竹工品、金工品、仏壇、仏具、和紙、文具（筆、墨、硯、そろばん）、石工品、人形、玩具、扇子、団扇、和傘、提灯、和楽器、工芸用具、工芸材料、アクセサリ（ネックレス、ブレスレット、指輪、イヤリング、ブローチ等）

e14. 本・雑誌・ガイドブックなど

新聞、書籍、マンガ、雑誌、定期刊行物、その他の出版物、絵葉書、ポスター

e15. 音楽・映像・ゲームなどソフトウェア

音楽や映像等のコンテンツが記録されているメディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ、レコード等）、ゲームソフト、コンピュータソフト（CD、DVD等）、有料アプリ

e16. その他買物代

寝具、じゅうたん・カーペット、タオル、カーテン、クッション、家具、文房具、箸（はし）、台所用品（包丁、まな板等）、食器、アクセサリ、乗用車・二輪自動車・自転車とその部品、空の記録メディア（CD、DVD、ブルーレイディスク、磁気テープ等）、玩具（おもちゃ）、ゲーム機、楽器、歯ブラシ、化粧用ブラシ、清掃用品（ほうき、はたき、モップ）、洋傘、マッチ、たばこ用ライター、模型（地球儀、食品模型）、魔法瓶、線香類、眼鏡、眼鏡わく、眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、カメラフィルム等

注) e12. 宝石・貴金属又は e13. 民芸品・伝統工芸品に相当するものを除く。

f. その他

郵便、宅配便の利用料金、公衆電話、携帯電話等の通話料金、その他 (a. 宿泊費から e. 買物代までに相当しないもの)

注) 現地ツアー料金に含まれる保険料は d1. 現地ツアー・観光ガイドに計上。電話機本体の購入は e10. 電気製品に分類。

(3) 買物場所

百貨店・デパート

原則として百貨店協会加盟の店舗

家電量販店

PCやカメラ、電気製品を専門に販売する店舗

ファッション専門店

服・鞆・靴・アクセサリ・高級腕時計等を専門に販売する店舗

100円ショップ

店内の商品を原則として1点100日本円均一で販売する形態の小売店

高速道路のSA・道の駅

高速道路のサービスエリア(SA)やパーキングエリア(PA)、国土交通省に登録されている「道の駅」

観光地の土産店

観光地内にある小売店

宿泊施設

旅館・ホテル等の館内に併設されている土産店

スーパーマーケット

高頻度に消費される食料品や日用品等をセルフサービスで短時間にも買えるようにした小売店舗

コンビニエンスストア

年中無休で長時間の営業を行い、小規模な店舗において主に食品、日用雑貨等多数の品種を扱う形態の小売店

ドラッグストア

医薬品や化粧品、トイレタリーを中心とし、併せて日用品や文房具、食料品等を取扱う店舗

ディスカウントストア

一時的なセールではなく常に低価格で商品を提供する安売り店舗で、一般的には生鮮食料品を除く生活用品を総合的に取り扱う

アウトレットモール

「メーカー品」(通常、メーカーのブランド名を表示したもの)や、「高級ブランド品」(通常、百貨店等で高額でも購入者がつき、販売可能なもの)を低価格で販売する複数のアウトレット店舗を一箇所に集めモールを形成したショッピングセンター

都心の複合商業施設

都心部に立地し、商業施設や飲食施設、映画館、遊技場等の娯楽施設等が一体的に整備された施設

その他ショッピングセンター

複数の小売店舗が入居する商業施設で、上記の買物場所に当てはまらないもの

鉄道駅構内の店舗

駅構内にある小型売店

注) 駅ビルは「百貨店・デパート」に含まれる。

空港の免税店

空港の制限区域内にあるブランドショップ

クルーズ寄港港湾内の店舗

クルーズ船が寄港する港の旅客施設内に設置されている小売店舗(臨時店舗を含む)

その他

上記に当てはまらない買物場所(書店、CD・DVD・レコード販売店、家具屋、観光施設内にある店舗、アンテナショップ、郵便局、質屋・金券ショップ等)

3. 調査の結果

(1) 表章事項

A 全国調査及び B 1 地域調査

国籍・地域別、居住地別ならびに訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の3つの集計区分毎に、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表章している。加えて、国籍・地域別の消費税に係る免税手続き実施状況、国籍・地域別及び出国港別の都道府県別訪問率を表章している。

参考として、パッケージツアー参加費内訳を含む旅行消費単価や、訪日旅行に関する意識について国籍・地域別の集計を行っている。また、主な来訪目的が「観光・レジャー」の旅行者に限定して、国籍・地域別及び訪問地（都道府県及び地方運輸局等）別の集計区分による集計も行っている。

B 2 クルーズ調査

国内最終寄港地別を集計区分とし、回答者属性や旅行内容に係る構成比、費目別購入率・購入者単価、回答者属性や旅行内容別の旅行消費単価、平均泊数を表象している。

(2) 集計方法

ウェイトバック集計

本調査の回答数は訪日外国人の「国籍・地域」や帰国時に利用する「出国港」によって区分される層毎で標本の抽出率が異なる。そのため、集計結果を母集団の構成に合わせることを目的として、集計表の作成にあたってはウェイトバック（重み付け）を施している。四半期調査結果では、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」ならびに法務省「出入国管理統計」の単純出国者数をウェイトとして使用している。

なお、集計表中に統計精度の参考値として「回答数」を付記しているが、これは回収さ

れた回答数を単純に計数したものであり、ウェイトバックを施していない。そのため、ウェイトバック集計により算出された「構成比」や「購入率」「選択率」などの統計値と、「回答数」を元に算出するこれらの数値は一致しない点に留意されたい。

当該ウェイトバック集計の算出式は次の通りである。

$$X = \frac{\sum_i x_i N_i}{\sum_i N_i}$$

X : 全体（全国籍・地域）の統計値

x_i : 層 i の統計値

N_i : 層 i の訪日外客数

さらに、A 全国調査と B 1 地域調査の整合を図るため、B 1 地域調査から導出される集計表については、以下の数値に関して A 全国調査の結果と一致するようにウェイトの調整を行っている。

- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（3 区分）別の旅行者数
- ・国籍・地域（21 区分）及び主な来訪目的（2 区分）別の旅行中支出（総額、大費目別）

旅行支出の円換算

旅行支出については、円又は自国の通貨で調査し、原則として IMF（国際通貨基金）公表の日次データによる調査期間中平均値を用いて円換算した。但し、IMF にデータがない通貨のうち、ニュー台湾ドル及び香港ドルについては FRB（連邦準備制度理事会）、ドン（ベトナム通貨）については財務省貿易統計の資料を基に円換算を作成した。

(3) 調査結果の精度

A 全国調査

表4 国籍・地域別1人当たり旅行総支出

国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数	国籍・地域 (21区分)	標準 誤差率	有効 回答数
韓国	3.4%	848	英国	5.2%	198
台湾	3.0%	642	ドイツ	3.7%	298
香港	2.7%	676	フランス	7.1%	145
中国	2.4%	1,035	イタリア	9.4%	79
タイ	4.0%	315	スペイン	7.9%	73
シンガポール	5.8%	150	ロシア	6.4%	109
マレーシア	4.3%	366	米国	2.2%	1,259
インドネシア	6.5%	230	カナダ	4.1%	236
フィリピン	5.4%	264	オーストラリア	3.4%	249
ベトナム	5.6%	367	その他	4.3%	324
インド	5.0%	283			

B 1 地域調査

表5 訪問地別1人1泊当たり旅行中支出

都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数	都道府県 (47区分)	標準 誤差率	有効 回答数
北海道	2.9%	1,590	三重県	11.8%	116
青森県	14.7%	89	滋賀県	10.0%	120
岩手県	15.1%	67	京都府	3.3%	2,342
宮城県	11.5%	186	大阪府	2.1%	4,216
秋田県	13.0%	69	兵庫県	9.4%	399
山形県	8.0%	135	奈良県	12.4%	346
福島県	13.1%	82	和歌山県	7.2%	198
茨城県	19.2%	122	鳥取県	9.1%	92
栃木県	8.6%	175	島根県	20.4%	46
群馬県	7.4%	158	岡山県	23.3%	216
埼玉県	7.6%	177	広島県	5.2%	583
千葉県	6.8%	974	山口県	11.7%	107
東京都	2.1%	7,201	徳島県	9.8%	102
神奈川県	5.3%	845	香川県	4.5%	469
新潟県	11.2%	192	愛媛県	6.8%	182
富山県	15.8%	131	高知県	11.3%	81
石川県	8.7%	522	福岡県	1.7%	2,848
福井県	27.3%	35	佐賀県	12.5%	159
山梨県	7.3%	808	長崎県	5.1%	351
長野県	3.5%	913	熊本県	6.0%	439
岐阜県	3.8%	821	大分県	2.9%	1,174
静岡県	6.2%	697	宮崎県	8.9%	114
愛知県	4.0%	2,029	鹿児島県	5.5%	224
			沖縄県	4.3%	348

B 2 クルーズ調査

表6 国内最終寄港地別1人当たり旅行中支出

最終寄港地 (3区分)	標準 誤差率	有効 回答数
博多港	8.1%	361
長崎港	7.6%	375
那覇港	14.4%	392

(4) 利用上の注意

- 2018年より調査方法を変更したため、2017年までの数値との比較には留意が必要である。
- 各数値はウェイトバック集計後に四捨五入をしており、全体の数値と内訳の合計とは一致しない場合がある。
- 集計表で使用されている「-」は、該当する回答者のいない層（又は集計対象外の層）であることを示している。
- 集計事項により回答数が小さい数値については、取り扱いに留意されたい。
- 都道府県、地方運輸局等別の訪問地には、出入国空港の所在地が含まれる。

<集計表>

【一般客（全目的）】

表 1-1	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-2	居住地（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 1-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 2-1	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-2	居住地（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 2-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 3-1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-2	居住地（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 3-4	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 泊当たり旅行消費単価	
表 4-1	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
表 4-2	居住地（21 区分）別	平均泊数	
表 4-3	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	
表 5-1	国籍・地域（21 区分）別	消費税に係る免税手続き実施状況	
表 6-1	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
表 6-2	出国港（25 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 1	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 2	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 3	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	

【一般客（観光・レジャー目的）】

参考 4	国籍・地域（21 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 5	国籍・地域（21 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 6	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 7	国籍・地域（21 区分）別	平均泊数	
参考 8	国籍・地域（21 区分）別	都道府県別訪問率	
参考 9	国籍・地域（21 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 10	国籍・地域（21 区分）別	費目別 1 人 1 回当たり旅行消費単価（パッケージツアー参加費内訳含む）	
参考 11	国籍・地域（21 区分）別	訪日旅行に関する意識（満足度など）	
参考 12	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	回答者属性および旅行内容	
参考 13	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
参考 14	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
参考 15	訪問地（都道府県 47 区分および地方運輸局等 10 区分）別	平均泊数	

【クルーズ客（船舶観光上陸許可を受けた外国人）】

表 7-1	国内最終寄港地（3 区分）別	回答者属性および旅行内容	
表 7-2	国内最終寄港地（3 区分）別	費目別購入率および購入者単価	
表 7-3	国内最終寄港地（3 区分）別	1 人 1 回当たり旅行消費単価	
表 7-4	国内最終寄港地（3 区分）別	都道府県別訪問率	

<調査票>

日本語、英語、韓国語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）

訪日外国人の消費動向
2018年1-3月期 報告書

発行 2018年7月

編集 国土交通省観光庁
観光戦略課観光統計調査室

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番2号

電話 代表 03 (5253) 8111

内線 27223、27216

直通 03 (5253) 8325

URL <http://www.mlit.go.jp/kankocho/>